滿洲日報
（第三種郵便物認可）



# 撤收地點並に期間は停戰交涉の最大難關
## 會議の前途樂觀し難し

【東京一日發】卅一日の停戰本會議で協定改訂草案第二條に對する支那側の留保を削除する事に諒解が成立した結果、殘る問題は第三條並に附屬の章となつた、右は卽ち日本軍の撤收地點並に撤收點より更に租界延長道路に撤收する期間の問題で殘つた唯一の問題だとはいへ最初より停戰交涉の最大難關と目されてゐただけに交涉の前途は未だ樂觀を許さないと觀られてゐる、支那代表は目下右問題に關し南京政府に請訓中だが、支那側今日迄の立前から今後の出やうが注目されてゐる

# 重要な撤收線未解決

【上海三十一日發】軍事小委員會においてわが撤收線の未解決地域として單に閘北の一部分とのみ發表されてゐるが、この中には既報以外に眞茹より南市に續く交通線、卽ち滬寧鐵道の王家宅の鐵道線路以東の線が含まれてゐる、この地點は眞茹から自動車で南市に通ずる交通線で西部方面の安全を期するためには最重要地域である

## 交涉の繼續は無駄
### 支那側が顏代表に打電

【ジュネーヴ三十一日發】目下上海で日本側との停戰交涉の衝に當つてゐる外交部次長郭泰祺は本日當地の聯盟支那代表顏惠慶に對し電報を寄せ
日本側は頑强に日本軍の完全撤退を拒絕してゐるから余は之以上停戰交涉を繼續するも無駄だと思ふ

## 英公使の報告内容

【ジュネーヴ三十一日發】ランプソン駐支英公使は本日聯盟に日支兩軍の其後の情勢につき左の報告を寄せて來た、尙駐支英公使ランプソン氏よりの報告によれば大倉地方で更に日支間に戰鬪行爲的事件が起つたと
爲した
日本軍は支那軍の現駐地に對し頻りに嚴重なる空中偵察をなしてゐる、なほ最近日本巡邏隊が太倉附近で中立國オヴザーバーに隨行せる支那の護衞隊を攻擊した事あるが、日本軍は事件發生を防止すべく既に命令を發した、大體斯る小競合は兩軍前衞部隊の現駐地たる太倉附近に限られてゐる

## 澄宮殿下、けふ士官學校御入校

【東京一日發】皇弟澄宮殿下を御迎へした陸軍士官學校では本日盛なる豫科入校式を擧行した、この日殿下には午前九時御着校、御在校中の朝香宮孚彦王殿下、李鍝公殿下に御對面後、直接御教育に關係する武藤教育總監以下三十餘名に拜謁を賜つた後皇族舍に入らせられたが、右は御兄君秩父宮殿下御入校の砌設けられた極めて御質素なもので、此處で一般生徒と御同樣のカーキー色の軍服に御召替へあり、同十時御編入の第二中隊における宣誓式に百五十名の生徒と共に臨ませられ、愈々學校の御生活に入らせられた（御寫眞は三月三十日學習院を御修業の宮殿下、左から澄宮殿下、東久邇宮彰常王殿下、賀陽宮邦彪王殿下）

## 戴戟辭表提出
### 軍事委員會慰留

【南京一日發】淞滬警備司令戴戟は停戰會議が支那側に有利に進展の模樣なく、結局非難の的となるを恐れ三十一日國民政府に辭表を提出したが、軍事委員會は極力慰留してゐる

## 洛陽で國難會議

【南京一日發】國民政府は國難會議を洛陽で開くに決し、林森、汪精衞、蔣介石、以下中央各部長並に委員等は國際聯盟支那調査團の離京を待ち洛陽に赴く筈

## 砲艦保津を不法射擊
### 支那兵荻港で

【東京一日發】鹽澤司令官發電、我砲艦保津が上航中三十一日正午蕪湖附近荻港の支那兵から小銃の射擊を受けたが機銃で反擊之を沈默せしめた

## 邦人佛租界で暴民に襲擊さる

【上海三十一日發】三十一日午後三時半某洋行店員外山勝次郎が商用のため支那人一名を連れフランス租界エドワード路を通行中突如支那暴民多數に取り圍まれ袋叩きに遭ひ後頭部顏面に重傷を負ひ租界警察に救はれ福音病院に擔ぎ込まれたが生命危篤である

## 南市高彰廟の兵工廠閉鎖

【南京一日發】上海事件發生以來國民政府は我空軍の爆擊を恐れ南市の高彰廟の兵工廠の重要機械を杭州、南京に移してゐたが昨日遂に閉鎖し全部南京に移した

## 上海全市開店
### 戒嚴時間も短縮

【上海一日發】今朝から全市一齊に商店を開いた　この他支那街の戒嚴令も時間は夜九時から朝の四時迄に短縮され、共同、佛兩租界の夜間通行禁止も撤廢されたので大上海は久し振りで元の上海に還つた、但し支那人密集地區並に租界外にては日本人に對する迫害は尙絕えない

## 日銀制度改正案を特別議會に提出
### 本月末調査會に諮問

【東京一日發】高橋藏相は現下の財界不況救濟の根本策として中央銀行制度及び發券制度を改正し梗塞せる事業界の振興を圖るべき事を屢々强調してゐるが愈々來る特別議會に提案するに決定し三十一日午後官邸に黑田大藏次官及び富田理財局長、大久保銀行局長を招待し第一回協議會を開催、これが方針を指示したが銀行、理財兩當局では直に具體案を作成し四月下旬頃新たなる金融制度調査會を召集しこれを諮問する筈

【東京一日發】高橋藏相は過般來金融制度改正の前提として從來の金融制度調査會を廢止して新方針による一流專門家より成る金融制度調査會を新設する事を決意し目下具體案を作成せしめてゐるが、右調査會は四月下旬頃迄に召集して現在問題になつて居る日銀制度改正案・發券制度改正案等を諮問する筈

## 日銀改革案骨子

【東京一日發】高橋藏相の抱懷せる日銀制度改正の大方針は藏相の口吻及びその周圍の關係者の意向から推して大體左の如きものであると觀らる

一、現在の日銀重役會が銀行經營に偏してゐるため通貨供給の基準決定の上に完全を得ないので新に財界各方面に補通せる一流の通貨管理委員會を設置する事

一、發券制度の改正は大體保證準備を擴張する意向でその擴張は現在の一億二千萬圓の上に五億乃至六億圓程度を增加する

一、納付金制度の創設、現在の發行稅額卽ち保證準備一分二厘五毛、限外發行五分の兌換券發行稅を全廢し、これに依つて日銀が利得する分に對して別に納付金制度を創設する

## 新規要求はこの上承認せず
### 大藏當局の强硬意見

【東京一日發】昭和七年度追加豫算に關し各省からの復活要求總額は七千萬圓の巨額に達し、各省とも相當强硬な態度を持してゐる、然し高橋藏相は對內的對外的信用維持のため赤字公債の增發することには極力反對であり、且公債引受け關係からもこれ以上新規要求を承認することは絕對不可能であると頗る强硬なる意向を有してなり復活要求は全部拒否する方針である、尙七年度豫算は實行豫算十四億五千萬圓の外、既に査定を要する追加豫算約八千萬圓、別途詮議すべき追加豫算約一千萬圓更に未決定の滿洲事件費六月以降一億五六千萬圓を加へると總額十七億圓に達する模樣である

## 滿鐵々道部營業收入の槪算
### 總額八千八百餘萬圓

滿鐵鐵道部營業收入槪算三月三十日現在は收入合計八千八百六十萬七百六十六圓に達し前年比減二百四十一萬三千九百卅二圓となるがこれを細別すれば左の如くなる（單位千圓、百圓以下切捨〇印增△印減）

| | 本年累計 | 前年累計比 |
|---|---|---|
| 客車收入 | 八、九〇 | △二、四〇 |
| 社內石炭收入 | 三〇、七七 | △　九〇 |
| 其他貨物收入 | 四、二〇 | 〇一、〇 |
| 倉庫收入 | 三、六 | △　一三 |
| 其他 | | △　二三 |
| 收入合計 | 八八、六〇〇 | |

從つて最近の鐵道一日收入三十五萬圓と見て本年度鐵道收入は結局約八千八百九十五萬圓となり、鐵道部の收入豫算八千七百餘圓を約百萬圓突破したが、これを前年度

### 槪算
について見れば前年比減二百三十萬圓となるが、前年收入の豫算において諸口拂戾および滿鐵協定による鳥鐵からの割戾し金百七十萬餘圓等が鐵道收入となつて決算面に現れ決算において約四百萬圓の收入增加を見たに反し本年度においてはこれ等の滿算による決算收入增加見込は極めて僅少であるため結局六百萬圓程度の減收になるものと見られてゐる、而して今極めて槪括的に鐵道收入の跡を見るに、社內石炭で實は四月十六日以後六月一杯は鐵道收入九千五百三十三萬餘圓に比すれば約六百三十八萬圓の減收となる、卽ち

### 好轉
し三月四日には社內石炭以外の普通貨物收入累計は前年比約四十萬圓の黑字となり最後まで好況が持續した、旅客收入は最も惡く一月八日には收入六百二十九萬餘圓で前年比三百八萬餘圓の減收となつたが、その後時局の安定から漸次恢復し三月末遂に二百四十萬圓臺の赤字にまで漕ぎつけた

…見せたのみで、總體的には不況をつゞけ前年度累計比減は十月三日最高に達して百八十七萬餘圓の赤字となつた、九月十八日滿洲事變勃發後は變動常なき狀態をつゞけ時局不安定の關係から、一時は悲觀狀態に置かれたこともあつたが輸送經路の變化、支那側鐵道不當運賃の廢止、時局安定等に幸ひされて次第に好轉し殊に三月以後は齊克線の出廻り等もあつて急速に

## 增員警官の宿舍
### 百萬圓で六百戸新築

過般關東廳の必死の努力によつて實現せしめた千五百名の增員警官に對する武器武具及び衣服等一切の配給物件については目下警務當局において可及的急速を要する問題として配給を急ぎつゝあるが、更にこれに附隨する重要事項として當局を悩ましつゝあるものは警官を收容すべき宿舍の整備である右に關し當局は過般來州外一帶に亘り敷地その他起工に伴ふ種々の經濟事情を完全に調査して既に大體の成案を得るにいたつた模樣である、當局は近く一齊に工事に着手の筈であるがその計畫案の大要は州外十四警察署に亘つて巡査宿舍三百戸、巡捕宿舍三百戸、合計六百戸の新築を行ふこととしその資金一戸當り千八百圓平均合計百萬圓を要するものと見込んでゐる

## 赤字
に轉じ遂に年度末まで恢復に至らなかつた、社外貨物の出廻り激增により相當の活況を呈し…撫順炭の好況に幸ひされ六月末前年比九十八萬六千餘圓の黑字を出したが、その後は次第に逆調となり更に滿洲上海事變による南支市場の杜絕等から未曾有の不況を示し十一月廿日には前年比收入累計は

## 滿洲國家に關する誹謗的再抗議一蹴
### 我政府、支那政府に回答

【東京三十一日發】滿洲新國家の建設は日本政府の責任だとて曩に支那政府側が政府を糾彈する通牒を送つて來たに對し我政府は三月十九日附で反駁回答を申送つたが、右回答に對し支那政府は廿四日附で重ねて我政府を誹謗する通牒を提示し來つた、之に對し我政府は二十九日附でその謂はれなき誹謗を反駁し、滿洲國家に對する我立場は十九日附回答で既に詳細說明したところであつて、帝國政府は重ねて貴通牒に對し縷々說明する必要なきものと認めるとの要旨の回答を送り簡單に抗議を一蹴した

## 關東廳辭令（四月一日附）

任關東廳中學校敎諭　旅順師範學堂敎諭　高田　秀夫
任關東州公學堂敎諭　關東廳中學校敎諭　鈴木　明
記　遞信局事務官、關東廳遞信書　小川　勝彌
免兼官　關東州公立實業學校　尾越　如長
文官分限令第十一條第一項第四號に依り休職を命ず　關東廳技手　浦江八百穎
關東廳種馬所長事務取扱を命ず
關東廳中學校敎諭　今西　喜藏
大連第一中學校長事務取扱を免ず　旅順師範學堂、從五位勳六等　石川　義次
任關東廳中學校長、敍高等官三等　關東廳中學校長從五位勳五等　橫佩　章吉
任旅順師範學堂長、敍高等官三等　關東廳女學校長、從五位勳五等　今井　順吉
任關東廳中學校長、敍高等官三等　關東廳中學校長、從五位勳六等
任關東廳高等女學校長、敍高等官三等　關東廳中學校敎諭　平田　芳亮
任旅順師範學堂敎諭、敍高等官四等　正六位　新里　朝明
同　從七位　高尾　賴信
任旅順師範學堂敎諭、敍高等官六等　從七位　倉本　義貞
同　敍高等官七等
關東廳公立高等女學校長　細萱　庫三
關東廳技師　青木　輝
昇敍高等官五等　關東廳高等女學校敎諭　伊佐　逸
關東廳醫院醫官　森脇　襄治
關東廳遞信技師　毛呂　邦次
昇敍高等官六等（各通）
關東廳中學校長　石川　義次
關東廳旅順師範學堂長　橫佩　章吉
四級俸下賜、補大連第一中學校長
四級俸下賜　關東廳中學校長　今井　順吉
六級俸下賜、補旅順第一中學校長
關東廳高等女學校長　平田　邦
五級俸下賜、補旅順高等女學校長　關東廳旅順師範學堂敎諭　新里　朝明
五級俸下賜　同　高尾　賴信
七級俸下賜　同　倉本　義貞
七級俸下賜　關東廳遞信副事務官　三木　卓
同　土屋　義郎
一級俸下賜　關東廳理事官　奧山喜兵衞
關東廳視學官　西　啓次郎
關東廳技師　鴨脚　光朝
同　三田昇之助
關東廳警視　田中貞三郎
關東廳專賣局理事官　布施　信平
關東廳遞信副事務官　土屋　義郎
同　三木　卓
同　大津　義雄
旅順工科大學事務官　寺田　倫
依願免本官　關東廳農事試驗場技手
兼關東廳技師
依願免兼官　關東廳旅順師範學堂長　山浦　貞
同　橫佩　章吉
命旅順第二中學校長事務取扱　關東廳中學校敎諭　厚見　武雄
同　米田　重信
同　大浦　優雄
任旅順師範學堂敎諭　關東廳中學校敎諭　照井　隆吉
任關東廳中學校書記
兼關東廳中學校敎諭　西　義胤
任關東廳視學　關東廳視學兼關東廳屬
任關東廳翻譯生　關東州公學堂敎諭　須藤耕一郎
任關東州小學校訓導　關東州小學校訓導　香川　義憲
補旅順第二小學校長　外池　平
補大連小學校常盤小學校長　榊原　參藏
補大連嶺前小學校長　關東州小學校訓導　香川　義憲
關東廳農事試驗場技手　山浦　貞
關東州小學校訓導　古賀竹次郎
依願免本官　關東廳看守長　鈴木　清重
關東廳遞信書記兼關東廳屬　加藤　昭市
免本官
專任關東廳屬　關東廳取引所書記　安武　□春
命四平街取引所長事務取扱　關東廳取引所書記　藤井　□□
命公主嶺取引所長事務取扱　關東廳視學兼關東廳屬
從七位勳七等　原　顯吉
任關東州公學堂敎諭　關東州公學堂敎諭　勳八等　谷口林右衞門
任關東廳視學　關東州公學堂敎諭　谷口林右衞門
補沙河口公學堂長　關東廳技手　鴨脚　光朝
任關東廳技師、敍高等官七等、敍從七位
九級俸下賜　關東廳技師　鴨脚　光朝
關東廳內務局農林課勤務　勳八等　北村　繁一
任關東廳公立實業學校敎諭　關東州小學校訓導　南洞アイ子
關東州小學校訓導　伊藤タケコ
依願免本官　關東州小學校訓導　柴田　松枝

## 警察隊で除隊兵を採用

滿蒙治安維持のため今回警察隊員を募集することになりその隊員は主として除隊兵を以て充當することになつてゐるが不足の場合は在鄉軍人よりも募集する筈で副隊長は在鄉軍人中の准士官、下士中より充當する事となつてゐる、右副隊長中四、五名は大連在鄉軍人聯合會の希望者中より選定することになつてゐるから希望者は二十日中に分會長まで申出て貰ひたいと

## 奉天警備司令赴奉

奉天警備司令于芷山は三十一日午後一時來奉直に省政府に臧式毅氏と會見、途中剿匪の狀況を報告したが氏は既報のごとく今後奉天に常駐、省內の治安維持に當り警備任務に就く筈【奉天電話】

うらる丸　二日午前七時二十分大連港外着の豫定

## 溥、潤兩氏大連經由東上

執政の令弟溥傑氏並に執政夫人令弟潤麒氏は三十一日午後十時四十五分着列車にて來寨ヤマトホテルに入つたが、一日本庄關東軍司令官を訪問挨拶の上、同日大連に向ひ、轉校のため海路東京へ出發の筈（奉天電話）

## 人事

▲石田英氏（大連郵便局長）新任挨拶の爲め三十一日各方面訪問
▲鹽田信次氏（大連無線電信局長）同上
▲中川增藏氏（吉長鐵路局滿鐵派遣員代表）一日午前八時着列車で來連ヤマトホテルに投宿
▲田中太四郎氏（朝鮮第一殖產會社重役）一日上り旅客機で京城へ
▲高橋清一氏（安東取引所長）同上、新義州へ
▲宮谷法含師（東本願寺布教滿洲總監督）一日奉天へ
▲久留島秀三郎氏（鞍山製鐵所採礦課長）社用を帶び一日出帆あめりか丸にて內地へ
▲小山貞知氏（滿洲青年聯盟理事）同上
▲貝瀨謹吾氏（滿洲技術協會長）同上
▲鳥取縣立鳥取師範學校滿洲視察團一行二十五名　同上
▲竹內德亥氏（大連民政署長）一日旅順往復
▲富田啓吉氏（前民政署庶課長）退官挨拶の爲め一日旅順往復
▲磯田信之助氏（前關東廳農林課長）退官並に囑託挨拶のため一日旅大往復
▲源田松三氏（前關東廳財務課長）夫人歸國に就き見送りのため一日旅大往復

## 中央一寸

さすがの高橋藏相も、各省豫算の復活要求に首肯せず、いくら積極主義でも程のある事は分つてゐる。
◇
滿洲國、一日から郵政權接收、近く海關も接收する、それから鹽務も收めて中央政府の財源を作らねばならぬ。
◇
滿洲政府は日本の傀儡、とは國民政府の抗議、無論兇濤外相耳もかけぬ。
◇
佛界通行の邦人、暴民に襲はれ重傷危篤、こんなのがある間、停戰會議の前途も遼遠。
◇
飴が地震を豫知することは科學的に證明さる、古來の傳說がバカにならず。

## 東亞の謎（233）
國枝史郎
挿畫　伊藤順三

### 四組の自動車隊（三）

木立がところ〳〵に立つてゐた泉が一ケ所流れ出てゐ、井戸が數ケ所に掘られてあり、蒙古小屋が十數軒立つて居り、包が百數十個張られて居る。――と云つたやうな所であつた。

小屋は旅行者の旅舍であつた。

洋子は旅舍から外へ出た。

土人のお祭があるといふので、供に連れてといふこの言葉は、巴林と也速該とを供に連れて。

●●●

洋子にうつてつけの言葉であつた。

巴林が洋子を手に入れやうとすれば、也速該が屹度邪魔をした。

也速該が洋子を征服しやうとすれば、巴林が必ず防害した。

この二人のさういふ態度が、洋子の貞操や生命を、自然と守ることになり、洋子は安全の境遇にあつた。

さういふ安全の境遇から一步、いや〳〵二步も三步も出て、彼女は二人を操縱し得る、女王のやうな位置になつた。

彼女は交互に也速該と巴林とを●●●ひやかしたりからかつたり、罵倒したり嘲笑したりした。

巴林の耳たぶを引つぱつた手で也速該の頰を輕く打ち、巴林の髭の毛を撫でた手で、也速該の髯を捩つたりした。

「れ、さうでせう、野蠻人でせうあんた方二人野蠻人よ。だから日本の貴婦人に對して、失禮しちやア不可ないことよ。いつもお行儀よく、いつも上品に、あたしにお仕へしなくちやアれ。……解つたでせう、解つたはれ。さあ解つたらお手々あげて」

こんな鹽梅にあつかひさへした。

自動車の中でも然うであり、此處へ來ても然うであつた。

最初こそ恐ろしくも怖くもありも今度こそ命が無いかもしれないと、そんなやうな彼女は思ひさへしたが、今では必ずしも然うではなかつた。飛んだ獵奇的の面白い旅行！そんなやうにさへ思つてゐた。

別れたダットや次郎のことを思へば、戀しくもあり逢ひ度くもあり、更にそれ以前に別れた兄や、南部や小夜子のことを考へれば、思慕の思ひに堪えられなかつたがかうなつて了つた自分に執つては戀しくても思慕しても何うにもならない、だから甲斐のないさういふ思ひは、せめて現在が安全であるといふ一事に割引かせて、その一事を享樂しやう。……さいふ所に立つてゐた。

いろ〳〵の是迄の破天荒の事變と、それに伴つた危險さが、彼女を大膽的の大膽な女に、すつかり高上させたのであつた。

だから彼女は賑かでさへあつた賑かな彼女は此夜も賑かに、二人の野蠻人を供につれて、焚火の見える方へ步いて行つた。

泉のある邊に祭壇が作り、その祭壇をとりまいて、土人たちが輪舞してゐた。

焚火が泉に映つてゐた。

グロテスクな巨大な假面を冠り鮮めいた武器や鎗めいた武器や、青龍刀めいた武器を振り、土人の踊子たちは踊つてゐた。

樂人達は木の太鼓や、眞鍮のラッパや角の笛を奏し、踊子達を圍く包んで、賑かに地面に坐つてゐた。

それを取り卷いて無數の見物が――蒙古人、支那人、トルキスタン人、英國の旅行者、ロシアの商人、フランスの旅行者、ユダヤの寶石商、等々が、押し合ひ乍ら眺めてゐた。

洋子達もその中の一人であつた。

「おや」と洋子は聲に出して云つた。

誰かが――何者かが眼に入れたらしい。

# 吉林軍擊破の餘勢で長谷部〇團本部夜襲

## わが軍直ちに應戰して擊退

## 馮軍、高麗帽に來襲

【ハルビン特電一日發】方正西方において吉林軍と對峙中の馮占海軍は三十一日午後戰を開き吉林軍は脆くも潰走した、馮占海軍は勝に乘じてわが長谷部〇團の本據地たる高麗帽に向けて襲來し三十一日夜陰に乘じ大膽にも〇團本部を夜襲して來たがわが軍はかね用意してゐたこととて直に應戰し交戰數時間にわたり大激戰を演じたが敵は遂に擊破され算を亂して蜘蛛の子を散らすごとく潰走したわが軍はこれがため戰死兵一名、負傷七名を出した、敵の死體は附近に散亂してゐる

# 露國々旗を揭げた敵裝甲列車と衝突

## 海林入りの上田部隊

去る十九日敦化を出發海林に向つた鞍山上田部隊は途中鏡泊湖附近にて大集團の匪賊と猛烈な交戰をなしつつ三十日夜海林に到着せるが三十一日夜鞍山守備隊に達せる情報及びその後の戰死者は下記の如くである

即ち〇隊は三十日午前六時寧安發嚴重なる警戒の下に海林に向ひ前進中午前八時五十分頃約三里の地點に於て王德林の部下約五百名と衝突し、賊の展開に先き立ち側面部隊によりこれを包圍し本隊と相呼應して賊に徹底的打擊を與へ、賊の本隊を殆ど全滅せしめた、戰場に遺棄されてゐた死體は百五十を下らず外に銃器百、彈藥多數を捕獲しこれを燒却した、賊の一部は牡丹江、主力は石河方面に退却した、この戰鬪に於て我軍は戰死は騎兵軍曹小田切淸吉、步兵上等兵原川才二郎、步兵一等兵久保田常吉の三名で負傷は步兵軍曹廳田淸、同伍長木村喜一、同上等兵渡邊義行、同遠藤宗吉、騎兵軍曹白木文藏、步兵一等兵梁山新三、同小森禮二、同二等兵大塚榮吉の八名で內五名は重傷である

# 不可解な露國の行動

## 國境の兵備を益々充實

最近勞農露國は極東に約四個師團の兵力を增加し且つ國境方面には飛行機も五六臺有するのみであつたが近來イマン、スパサカヤの二ケ所に飛行機八十機を增加した、北滿支那有力者間では反吉軍の兵匪のシベリヤ進入を防止するためなりとか又一部ではそれにしては兵力が大なりなどゝ種々傳へられてゐるが露國の態度は全く不可解にして彼等の行動は各方面から注目されてゐる【長春電話】

# 滿洲國軍を集結し戰機熟し來る

## 農安の匪賊一萬五千

なほ上田部隊は賊を追ふて前進した處海林南方約三キロの地點にて午後一時半頃東方より裝甲列車が前進し來りわが展開線の正面に停車したが、同列車は露國々旗を揭げてゐるので內容を調べんとせるに同列車は突如五百米突程後退し砲を有する二百名程の部隊が下車し附近高地を占領し我に砲擊を加へんとしたので〇隊は展開のまゝ直にこれを攻擊々退し、敵は死體三十を殘して北方に潰走した、かくて日沒に達したので〇隊は同夜海林に宿營せるが以上の情報を綜合すると牡丹江には王德林の指揮する約五百名、石河にも約五百名の賊あり我に接近し目下對峙中である【鞍山電話】

張海鵬および彰金山麾下の農安討伐に參加すべき出動騎兵の大主力部隊は三十一日より四平街および鐵嶺より臨時列車で續々到着前線に向け出動中だが一日午前一時十五分着列車で騎兵七百名馬匹八百頭、九時三十分着列車で騎兵一千百名、馬匹一千三百頭が到着寬城子郊外に休養したが正午その一部は長春に入城した、しかしいづれ一日夕方までには農安に出動する筈、なほ本日夜も大部隊が到着することになつてゐるが到着時間は不明である、かくして長春を中心とした軍隊は勿論、滿洲國の精兵の大部分は鐵西農安街道に集結して戰機の熟するを待ちつゝある農安包圍の匪賊團は附近の小匪賊團を合しその數一萬五千と稱せられ鐵西の匪賊のほとんど全部を網羅したかたちでその勢ひ侮るべからざるものがある、一方滿洲國軍は吉林軍、チチハル軍、張海鵬軍その他を合せて二萬餘、これに日本軍〇〇〇〇名あまりが參加し戰機はまさに熟せんとしてゐる兩軍の間に火蓋を切るのは二日午前六時からの豫定だが一兩日前からの春風は一日にいたり黃塵萬丈を吹き飛ばす蒙古風となつたので飛行機の偵察活躍は頗る案ぜられてゐるから空陸呼應した總攻擊の開始が果して豫定通りに行くか否かは豫斷を許さぬものがある、單なる擊退だけならばともあれ將來の禍根を絕滅するの作戰であるため聯合軍はもつとも愼重な態度をとつてゐる、又滿洲軍主力部隊は遠隔地からの集結には輸送上或は行軍上一非常に苦心しつゝあるの狀態にあるから或は三日拂曉に延期せらるゝかとも見られてゐる、しかし戰機の熟してゐるのは事實で滿洲國軍の意氣は正に天を衝くの槪あり火蓋が切られ突戰奮激入り亂れ白兵戰を演じ壯快なる賊の殲滅の戰るも目前に迫つた、この戰勝の勢ひは或は敦化附近の遠征となり國內治安の完璧を期するの方圖に出づるにあらざるかと見られてゐる【長春電話】

# 敦化襲擊を大刀會匪が計畫

## 在留邦人虐殺を圖る

敦化東北方大荒溝奧地にある大刀會匪百五十名餘の指揮官は王芝昌で去月二十一日大荒溝附近でわが軍と激戰を交へた王德林麾下の兵匪五百名と行動を共にしてゐるが彼等は敦化警備の日本軍全部は農安方面に出動不在であるため、敦化襲擊の決行は今日をおいて他にない、われらの敦化占領を知つても日本軍が敦化到着は相當時間を要するのでその間には在留日本人の虐殺は十二分に行はれると號してゐる模樣であるが王芝昌は安圖縣、十餘縣にある兵匪の司令官と

敦化襲擊に對する協議を行の[illegible]樣である、長春西方の農安は[illegible]の立場にありしかしてさらに敦化は匪賊の間に襲擊の計畫ありこれら匪賊討伐にあるわが軍は全く奔命に疲れざるを得ない立場にある【長春電話】

# 保護警戒に我軍增兵

## 守備隊を派遣

農安總攻擊の結果敗走する兵匪を見ることはあり得る事實だがこれら匪賊が東方へ流れて敦化附近の賊團と合流するにおいてはさらに治安を紊す最大の原因となるのでわが軍では在留民の保護警戒のため熊岳城、大石橋駐屯の獨立守備第〇大隊森重大尉以下〇〇〇名を派遣することとし一日午前七時着列車にて該隊は長春着同八時發吉長線列車にて敦化に向け出發したなほ內〇〇名は吉長線下九臺に下車駐屯せしめた【長春電話】

# 農安城死守

## 一日午後一時の形勢

一日午後一時における農安附近の陣形は農安城內には劉團長の率ゆる約千五百名の吉林軍あり、農安城より約一邦里の地點にある六間房には賊の主力約八千が嚴重なる陣を張り、これより更に南一邦里をへだてた南西入門に我軍が機の到るを待ちかまへ、更に農安城東南方面は吉林守備隊、東は吉林軍によつて守られ今や全く戰雲漲り、大激戰まさに勃らんとする直前の沈默を守つてゐる【長春電話】

# 愛國號機搜查繼續

## なほ手懸なし

【ハルビン特電一日發】愛國號搜查のため今朝また飛行隊出動し方正、三姓方面および附近を隈なく搜查したが依然判明しない、ハルビン飛行隊および現地の軍隊はあらゆる方法を講じ地方人の噂まで注意して調てゐる

# 搜查飛行機を高射砲で射つ

【ハルビン一日發】三十一日搜査に向つた〇機は依蘭に在る反政府軍に高射砲で射擊され引返して來た、方正方面に在る天野〇團とも連絡八方手を盡してゐるが何等の手懸りない、依蘭附近に不時着したさすれば恐らく絕望ならんと

# 苦力監督の邦人不明

## 敦化の南方で

本籍宮崎縣東諸縣郡高岡町當時敦化東門外榊谷組事務所勤務吉賀井正（二）は三月二十五日午後一時三十分ごろ敦化南方約一里半の牡丹溝附近において砂利採取の苦力監督に赴いたまゝ今日にいたるも歸來せず行方不明となつた、これがため敦化領事館分署巡查四名および滿洲國側公安局巡警八名は二十八日午前九時よりその搜查のため現地に赴き砂利採取場をはじめ牡丹江西岸一帶にかけ大搜查を行ひしも何ら手懸りがなく午後四時引揚げた

目下同附近は匪賊の橫行甚だしくここに大荒溝附近には大刀會と稱する自稱救國匪賊と馬賊軍とが敦化襲擊を企て蠢動しつゝあるため彼等の手に拉致されたものと思はる【長春電話】

# また悲しい凱旋

## 十四勇士の遺骨歸る

春のたよりをよそに敦化、老高橋通遼堡、九臺子方面の兵匪討伐中壯烈な戰死を遂げた名譽の勇士故步兵曹長奧山勝次氏外十名それに學良軍の動靜を探るべく昨年十月以來特志調查班を組織し目覺しい活躍をつゞけてゐたが不幸同志十餘名と共に兇刄に斃れた故軍司令部囑託倉岡繁太郎氏、同緒方武雄氏緒方末治氏合せて十四體の遺骨が一日定期船あめりか丸で〇〇團附步兵曹長加藤齊氏外十名に護られて悲壯な凱旋をした、定期船出帆前午前八時半より埠頭待合所の祭壇において嚴肅のうちに市役所主催の慰靈祭が行はれた故倉岡軍囑の血緣者、その他遺族連の悲しい合掌裡に神式をもつて開始、關野市助役祭主となつて弔文を朗讀並居る參列者一同淚のうちに午前九時半式を終了、直に甲板にしつらへた祭場に移す、白木の十四の小箱、各方面から贈られた幡の香華、立ち上る香煙、岸壁ベランダを埋めた市民の脫帽、敬禮のうちに國の鎭めが嚠喨と吹奏せられ、船はこれ等永久に眠れる勇士を乘せて懷しの故山に向つた【寫眞は慰靈祭】

# 滿蒙熱に浮かされボロ株を掴まさる

## 大連署に照會殺到

滿蒙熱に煽られた內地において巧妙な株券詐欺の智能犯が非常に增加し各地でとんだナンセンスを演じてゐる「滿蒙」といふ二字に魅力を感じ出した機會を付け込んで滿洲では顧見られない無價値の株券や、幽靈會社として有名無實な會社の株券、さては好況時代の遺物として現在僅か二、三圓の市價を唱へられてゐる不良會社の株券でも「滿洲」とか「滿蒙」の社名が冠せられてゐると恰も新興滿洲で隆々たる業績を擧げつゝある優良會社の株式の如く巧に思はせ認識不足の內地人に高價に掴ませて莫大な儲けをしてゐるのであるこれがため大阪で賣買價格十圓を唱へられてゐる株券が福岡では一躍三十圓を唱へられてゐたり非常な財產だと思つて怪しげな株券を千株も二千株も持つてゐた者が市場に出して初めて無價値であるとを知つたといふナンセンスが各地で演ぜられてゐるといふ、この怪しげな株券を巧な宣傳に乘つて高價で掴まされた被害者は東京、神奈川、名古屋、大阪、福岡の各地に亘り多數に上つてをり、各府縣警察部から殆ど每日の如く大連署宛に會社の有無、株券の眞僞、市價等を照會して來る有樣で、一日も神奈川縣警署から大連株式信託會社の株券で大掛りな詐欺にかゝつた者ありといふので同社の內容調查を依賴してゐる

# 東陵遊覽列車

## 每日曜日運轉

【十七日溝家屯】滿海鐵路局では春先より夏秋にかけ內外人の東陵見物出盛りを見越し四月十五日より東陵遊覽列車の運轉を計畫してゐるが當分大北邊門より每日曜日に一列車を運轉する筈【奉天電話】

# 麻雀倶樂部睨まる

さきに試驗的に許可された四軒の麻雀倶樂部は流行の潮流に乘つて相當繁盛してゐるので、その後開業を希望する者二十數件の多數に上つてゐるが大連署では許可せる倶樂部が開業間もなきに早くも賭博場化しつゝあるとの風評あり、結果面白からぬものがあるので第二次許可を見合せてゐるなほ右の風評に對して目下極力內偵中で賭け麻雀の事實が判明し次第閉鎖を命ずる意向であると

# 軍隊警官の弔慰々問金

滿洲事變出動軍隊、警察官の戰死殉職、傷病者のため民政署長、市長、商工會議所會頭發起で大連、滿日兩新聞社の後援を得て舊臘以來弔慰々問金を募集中であつたがその總額一萬八千八百三十一圓に達したので取扱つた市役所ではこれをそれぞれ寄附者の意思に從ひ軍隊または警官に送る事となりその區分を指定しないものは兩者の數により按分し三十一日軍隊側は軍司令官あて一萬八千五百圓七十六錢を警官側は關東廳警務局長あて三百三十圓八十七錢を送附した

# 地震と鯰

## 迷信と科學

### 鯰の豫告は百發百中

### 東北大學畑井教授が新研究

【仙臺三十一日發】近代科學は地震は鯰が地底で尾を振ると云ふ傳說を迷信だと片附けて居たものだが蚯蚓の研究で有名な東北帝大理學部教授畑井新喜司氏が動物學者として鯰と地震の相關々係を研究して然も教授は九十パーセント迄兩者の密接な關係を確證し學界にセンセーションを捲き起してゐる畑井教授は地震と魚の移動につき研究してゐたがボストン大學のターカー教授が水底の怪哲學者鯰が組織學的に物體の震動と電氣に敏感であると發表して以來青森試驗の東北帝大臨海實驗所に音響と震動から完全に絕緣した研究室を設け鯰を水雛に飼つてその運動を睨みながら記錄を作つたが人體に感じない地震迄鯰には判ると云ふ事が地震計で明白になつたゝめ教授はこの頃では鯰利用の地震豫告を所內に揭示すると殆ど百發百中の結果を得てゐる

# 旅大の上空を三十機飛ぶ

## 聯合艦隊の飛行訓練

帝國海軍の精鋭である第一、第二艦隊の聯艦は來る三日と六日を期し舳艫相啣んで旅大の地を訪れる事になつてゐるがその際艦載の水上機および艦上機は飛行訓練のため旅大の上空に入亂れて飛行する事になつた、日割は第一艦隊が三日より八日まで水上機六機大連の上空を飛翔し八日より十日までは旅順の上空を飛び、三日、八日、十一日の三ケ日は艦上機三十機銀翼をならべて旅大の上空を旋回して快翔し第二艦隊は三日より六日まで水上機六機旅順の上空を十日は同大連を各飛行する事になつた艦上機三十機大連の上空に爆音勇ましく飛行する等は未だ曾て見ざる事で定めて壯觀な事であらうと待たれてゐる

# けふ滿鐵で廿五周年記念式

## 永年勤續社員を表彰

滿鐵會社營業開始二十五周年記念式並に永年勤續社員表彰式は一日午前九時から滿鐵社員俱樂部大食堂で行はれた、式は山崎總務部次長の開會の辭に始まり、鐵道工場ブラスバンドの伴奏裡に出席者一同滿鐵の歌を合唱、內田總裁式辭を述べて廿五周年を迎へた滿鐵の現在を祝し拍手裡に降壇、次いで中西人事課長事務取扱び社員表彰についての規定統計等に就き詳細報告をなし內田總裁よりも五年および十五年勤續社員表彰狀をそれぞれ各部所代表に授與、直に立食の宴に移つた、かくて九時四十五分內田總裁の發聲にて會社の萬歲を三唱し盛會裡に式を閉じた【寫眞は式場】

# 赤十字の春季巡回施療日程

日本赤十字社大連委員支部では來る八日から二十七日までの二十日間、例年の通り管內の春季巡回施療を施行するがその日程は左の通りである

八日老虎灘管內▲九日石道街▲十日北岡子▲十一日香爐礁▲十二日三春柳▲十三日周水子▲十四日大辛寨子▲十五日定家河子▲十六日華鎭堡▲十七日南關嶺▲十八日大房身▲十九日柳樹屯▲二十日海猫屯▲二十一日甘井子▲二十二日寺兒溝▲二十三日臺山屯▲二十四日小平島▲二十五日總家屯▲二十六日彷溝▲二[illegible]



# 初年兵傳染病

卅一日旅順に到着した第三十聯隊第二中隊の初年兵小山金治は一日流行性腦脊髓炎に罹り衛戍病院に收容されたがこれがため營內は大騷ぎとなり大消毒を行つた

# 神武天皇祭

大連神社では三日の神武天皇祭に當り例年の如く午前十時より境內遙拜場において民政署長、市長、滿鐵總裁始め氏子役員參列の上遙拜式を執行すると

南西の風（晴）一時曇　二日　大連測候所

各地溫度

| | 昨日最低 | 一日午前十一時 |
|---|---|---|
| 大連 | 〇、四 | 一、六 |
| 旅順 | 〇、〇 | 一三、七 |
| 營口 | 零下一、五 | 一一、五 |
| 奉天 | 同 二、一 | 一七、二 |
| 長春 | 同 四、八 | 一六、六 |

けふの小洋相場（十一時）

金百圓は一六四圓二十錢

# 武門血笑記 (102)

下村悦夫作
布施長春挿畫

**走馬燈（五）**

これに對して、照枝は左足を開いて右半身をぐつと前に、獨特の刀身一如、入身正星の構へ、而もその手に握られてゐるのは、大刀でなく、仕込杖以來使ひ慣れた一尺二寸餘の細身の小刀、燦さして白日に煌きながら、眞一文字に主殿の胸許を狙ふ。

主殿は神道無念流の流をくんで旗本の中でも指折りの使手、殊に業よりも氣で勝つ無類の强刀、照枝の恐氣もない奇妙な構へを見ると

（小癪な、奇怪極まる構へ、たゞ一打に）

ぐつと腹の底から込上げて來る殺氣に釣込まれて

「えい、えいツ！」

八相に振冠つた大刀光の鍔許から鋩子迄びりびりと響くやうな矢聲き早の氣合

が、不思議！照枝はその黒水晶のやうに澄きつた眼を、たゞ一點主殿の胸先に注いだまゝ、唖のやうに口を閉ぢて、而もその兩脚は刄さ共にぢりぢりさ前に進む。

作樂が奥の座敷から飛び出して來たは、丁度その時であつた。

「あつ」

思ひもかけぬ光景に、彼は一瞬棒立になつたまゝ、二人の鍔勢に乾度目を注ぐ。

（互格、いや、今の處照枝に一分の勝目が、が、こんな事をしてゐる中に敵の助勢が……）

突嗟に、作樂の腕の中で、こんな考へが閃いた。

作樂は、プツリ刀の鯉口を切つて、踏み出す前に、眼を上げて四邊りを見た。

さ、その途端、二町餘り向ふから砂煙りを立て、驅けて來る捕方の一群——。

「おう」

思はず作樂の口を突いて出る呻き聲

作樂は突如足許に轉がつてゐる穗先の切れた槍の柄を拾ひ上げ、横薙に颯さ、主殿の胴を拂つた。

不意を喰つて主殿

「えつ」

横斜ひに一間餘り飛び下つて、備へを立てやうさする瞬間

「えいツ」

鐵丸をも貫くやうな照枝の鋭い諸手突き。

危ふく開ひて、飛び違ひざまに

「やつ！」

さ、打下した主殿の長劍、空を切つて前に泳ぐさ見た一刹那！

ピユウさ唸りを生じて飛んで來た、作樂の投げた槍の柄に、主殿は足を絡らまれて、ばつたり砂の上に倒れた。

「逃げよ」

作樂は照枝を促して、七八間前へ驅け戻つて來た主殿の乘馬を見掛けて一走り、手綱を掴つたさ見ればひらりさ飛び乘り、照枝の手を取つて、鞍前に抱き上げ、そのまま松林の中へ一目散、草茫々たる富士の裾野を目掛けて、疾風のやうに驅け入つた。

驅け寄つた捕方達は

「曲者！」

「逃がすな」

「あれだツ」

口々に叫びながら、後を追ふて松林の中に亂れ入る。

がつばさ砂の上に伏つたまゝ、後を追ふさもしなかつた主殿、静かに立ち上るさ、砂にまみれたその面は、夕立雲のやうな陰慘な表情、垂れたまゝ握り締めてゐる大刀光が、憤怒さ屈辱に、わなわなさ顫えてゐた。

∞江戸育ち業平小僧∞ 山中貞雄原作脚色仁科熊彦監督で嵐寛壽郎の當り役業平小僧の[illegible]物語で相手女優は泉月純子【大日活上映中】

## 大衆興行の寳館 河合映畫を解約

正映マキノと富國キネ契約

但し當分は内檢切れ

寳館は本年正月から河合映畫封切館さして赤澤キネマの内檢切れ映畫を併映し毎週階下二十錢の大衆興行を標榜して爾來好成績をあげ採算のされる映畫館さして業界の注目を集めてゐたが、突如四月一日から河合映畫を解約し、新に正映マキノ製作大衆文藝提供作品及び富國キネマさ契約し赤澤キネマの内檢切れは從前通りさする旨を發表した、この結果河合映畫は封切館を失ひ、寳館も亦、正映マキノさ富國キネマを契約するさは言へ未だ正映マキノは二本、富國キネマは未封切で兩社さも全プロ配給に至らぬため當分の間は赤澤キネマの内檢切れさ常盤座小泉友男氏所有のマキノ作品を上映し、また時々は露人配給者テラケロフ氏の洋畫を以て大衆興行をするものと見られてゐる、なほ同館の小笠原雷音氏が上海から福岡に廻り近日歸連する筈で同氏によつて河合映畫に代るべき何等かの對策が講されるものさ見られ、一說には河合映畫滿洲支社には違反金さして保證金の五百圓を出してゐるから今後は河合映畫九州支社さ直接取引をなすべく計畫されてゐるさも傳へられてゐる

## 帝國館再生裝置

トービス機を採用し

將來は混合プロ上映の模樣

帝國館は日活映畫封切館さして開館當初からトーキー再生裝置が問題さなり日活本社のトーキーに對する態度を見極めた上で解決すべく懸案中のさころ、日活にて本格的にトーキー製作に乘出し四月第二週に大河内傳次郎主演「上海」をトツプに第三週に伏見直江の「女國定」さ續々發表し現在トーキー十本を準備してゐるのでいよいよ再生裝置をなすことになり、ウエスタン、RCA、トービス機の内から採用すべく協議の結果、日活本社が錄音さ再生效果の關係上トービス機を採用することになり、全國六十館をトービス機でトーキー化するので帝國館も日活作品本位の再生效果を考慮し遂にトービス機Z型を採用することに決定しこの程古河電氣さ契約し四月下旬入荷し直に据え付けて五月中旬「上海」を封切りする豫定である、この結果、同館の懸案である混合プロ上映も今日までトーキー再生裝置なきため行惱んでゐたがこの問題も急速に解決すべく帝國館の將來は日活映畫さ優秀外國映畫の混合プロによるべきものさ見られてゐる

**囁語**

寳館が河合映畫を解約しまた一つ映畫街に波紋を描き出してゐる▲解約の主な原因は歩金が高すぎるさいふさころにあるらしくアッサリさ河合支社に保證金の五百圓を違約金さして出したさころを見るさ▲その裏には河合映畫九州支社さ直接取引してフキルム料金を低下せしめ樣さする肚らしい▲その結果滿洲支社さ正面衝突さなれば館主平田貞助氏を擁して資本戰で押し切らうさいふ作戰だらうさも見られてゐる▲但し四月は二プロだけ河合映畫を上映する妥協がついてゐるさのこさ▲阪妻プロが燒けたので當分撮影まで遊ぶなら新興滿洲周見物旁々來て欲しいさ長大日活館主が阪妻へ打電▲この人どこまでも興行師肌に出來てゐるさ映畫街を感心させてゐる

## 本社特選 新棋戰【其四】

香落 六段 △飯塚勘一郎
四段 ▲鈴木禎一

【圖は七四歩迄の局面】
▼鈴木氏「持駒」歩
△飯塚氏「持駒」歩

△六五歩　▲七七角成
△同　桂　▲二二角
△六六角　▲同　角
△同　飛　▲三三角
△六七飛　▲八六歩

【土居八段講評】△飯塚君はこの機を利用し强く六五歩さ突出し上手の實力を發揮したのは活氣ある指し方である▲その時鈴木君の三三角打は敵飛車の働きを牽制の意味であらうが後に角頭に危險を生ずる惧れあれば矢張り二二角さ打つて置く方が好い。

【萩原六段解説】飯塚氏の六五歩は自陣の整備さ敵の七四歩の早計に乘じたものである。鈴木氏の七七角は敵桂を捌かす樣だが敵より二二角さ交換されては自玉の姿が惡くて指し惡いので七七角さ交換したのである。飯塚氏の六六角は直に六七飛でも同じになるが一旦六六角さ打つて同角、同飛その時二二角さ打つた時四八角さ受ける樣な順も出來るので一旦六六角さ打つたのである鈴木氏の三三角は玉を廣くする意味であらうが敵に三七桂さ先手に挑まれる惧があつて矢張二二角さ打つ方がよかつた、又八六歩は飛車を捌く意味で敵八五銀なら七七角成、同飛九五飛で宜い。

滿洲日報



# 重要問題の解決近し

## 撤收地決定せば期限明示

【上海三十一日發】本日の停戰會議で未決定のまゝ殘されたのは基礎案三條中、我軍の撤退時期更に細分すれば、第一、我軍が上海吳淞線に撤收する時期、第二、我軍が租界內に撤收する時期、右につき支那側は明示を要求するが、第一に對しては日本としては停戰協定成立せば出來るだけ速かに撤收する用意あり、只第二は地方的事情の變化に依つて決定されるものであつて日本としては豫じめ之を明示する事は不可能として居るが協定のアウトラインは九分通り成立した譯である

# 撤收區域もほゞ決定

【上海三十一日發】本日の小委員會で決定した我軍の撤收區域は

一、吳淞は砲臺を拋棄し、吳淞クリークの西岸(吳淞鎭の一部を含む)を境とし、クリークの上流は黃浦江岸より約二キロのクリークの支流潮塘河に至る區域即ち日華紡績工場附近から徐家屯の鐵道機關庫棧橋、蘊藻濱、張華濱の兩停車場を包括する一帶の地區

二、江灣鎭方面は鐵道路以東を確保

三、引翔港方面は競馬場及びその一帶の租界隣接地區

と決定し只閘北のみについては決定を見なかつたと、閘北では日本側が邦人居留民の多い日本人墓地及び虹口クリーク北方一帶を確保せんと主張せるに對し支那側では鐵道線路以東說を固持して居るが結局わが要求が貫徹されるものと見られる

# 日本最後の讓步――

## 江灣鎭と吳淞砲臺を放棄

## 承認の回訓を發せん

【東京一日發】上海派遣軍參謀長田代少將は一日陸軍中央部に對し三十一日の日支停戰交渉の結果を報告し會議の難關となつてゐる撤收地域に就き

日本側は最後まで要求してゐた吳淞、江灣鎭、閘北の線より更に一部を讓步して閘北は六三園日本人墓地以東の地區より江灣鎭並びに吳淞砲臺を放棄して江灣鎭以東より吳淞クリークの棧橋を中心に二キロの地域に至る三角據點を保有して撤收地域を縮小する事に就き意見を具申請訓して來た依つて中央部では右に就き一日午前協議を行つてゐるが大體此の撤收地域を認める模樣で午後回訓を發する筈

# 二日の會議は回訓案で

【上海一日發】軍司令部に於ける協議を終つて公使館に引揚げた軍部代表は語る

明日の會議に殘された問題は日本軍撤收地區問題の內、六三園を第一次撤收區域に含ませる點及び我飛行機に依る支那側停戰狀態視察の點等で目下請訓中だから今夜あたり回訓があらう明日の會議にはこの回訓を以つて臨む事とならう

# 砲臺は既に無價値

## 我軍部當局談

【上海三十一日發】吳淞砲臺を我軍撤收區域より放棄した事につき

わが軍事當局は左の如く語る

吳淞、獅子林、虹橋の揚子江及び黃浦江の河口を扼する各砲臺は既に砲臺として價値を失ひ、又支那は當分砲臺構築の能力が無いのと一面吳淞クリークの兩岸に駐兵して同所に對し監視をなしてゐるので讓步した譯である

# 拓務省豫算復活

## 廿七萬圓餘を承認か

【東京三十一日發】拓務省所管昭和七年度實行豫算復活は目下大藏省と交涉中で次の諸件は近く正式承認となる筈

一、海外企業貸付金 八萬四千三百九十七圓

一、海外移住組合聯合會及び產業施設助成費 十一萬三千九百二十圓

一、海外移住組合聯合會補助費 三萬一千二百八十圓

一、昭和興業移住者助成費 一萬圓

一、長崎移民助成費 三萬五千二百二十四圓

合計 二十七萬五千八百八十一圓

# 南洋廳の獨立會計實現

【東京三十一日發】大正十一年我

# 余の報告により外務省態度決定

## 田中大使奉天で語る

外務省の特命をうけて滿蒙視察中の田中都吉大使は三十一日午後三時三十分阪本、岩屋兩氏を隨へて着奉總領事館に向つたが二、三日滯在長春に向ふ筈、視察の目的については多くを語らず

外務省も余の報告によつて態度を決定するだらう、滿洲外務機關の統制案はあるが、これは小さな問題だ

と口を閉ぢたが、長春で支那側と承認問題につき協議するとみられる

# 滿洲國承認問題

## 中央滿蒙協會の建議

中央滿蒙協會では同會代表阪谷芳郎男の名を以て曩に政府に對し二回の建議(第一回は滿洲の政治的建設、第二は其の事業施設に關するもの)したが、更に三月十六日第三回建議として左の如く滿洲國承認問題に關し建議するところあつた(首相、外相、陸相、海相、拓相其他宛)

### 滿洲國承認問題に關する建議

政府は、日滿關係の特異性に鑑み、既に成立を告げたる新滿洲國政府を、事實上の政府として當面必要の事項を處理すべく、又其前途に安定性を認むる時は之を正式として日滿關係の基本を確定し、滿洲國自體の國際的地位を明確ならしむる爲め、之に承認を與ふる方針を以て內外政務を處理せらるべきものと信ず

右及建議候也

### 理由

# 三年兵の歸還は約十日遲る

## 各地匪賊討伐のため

【東京三十一日發】滿洲派遣第○師團三年兵は交代の初年兵到着と共に四月十日頃滿洲原駐地を出發內地に凱旋する筈であつたが、多門○師團は目下匪賊討伐のため各地に轉戰してゐるため原駐地出發を遲延して二十日頃になる旨陸軍中央部に報告があつた

# 海軍航空廠一日開設

【東京三十一日發】國民の熾烈な航空熱のうちに愈々一日から橫須賀追濱に豫算四百七十萬圓、六ケ年繼續事業で海軍航空廠が誕生する、同廠は從來の廣島海軍工廠發動機部、艦政本部航空兵器部、橫須賀工廠發動機實驗部、霞ケ浦航空科學部と共に海軍航空機の研究に當る筈

# 五分利公債三千二百萬圓

【東京三十一日發】大藏省發表、政府は本日五分利公債額面三千二百八十五萬七千七百五十圓を預金部引受で發行した、內譯

鐵道會計法 三千百五十九萬七千二百圓

臺灣事業公債法 五十七萬八千七百圓

關東州事業公債法 六十三萬四千四百圓

# 預金部委員會決定事項

【東京三十一日發】本日の預金部運用委員會で左の如く東拓債券條件變更の件を決定した

### 甲、一般資金の分

(一)東拓の金融援助のため預金部で引受けたる東拓債務千二百萬圓につき左の通り條件を變更する事

(イ)昭和八年三月三十一日迄利率を年四分五厘とする事

(ロ)七年九月及び八年三月期日の年賦償還金中元金相當額は八年九月期日の年賦償還金と共に支拂ふ事

### 乙、特別資金の部

(一)滿洲金融疏通資金に充當せしむるため預金部で引受けたる東拓債券現在額三百十五萬圓は同一條件で左の通り償還期間を延長し借替へしむる事、償還期間は八年三月三十一日、但し期限前でも會社の融通先より一部又は全部の回收ありたるときはこれを預金部に返還する事

(二)東拓の業務擴張資金に充當せしむるため預金部で引受けたる東拓債券二百萬三千圓は同一率を以て償還期限を八年三月三十一日迄延期し借替へしむる事

(三)青島ドイツ人の私有財產購入資金に充當せしむるため預金部で引受けたる東拓債券現在額二十一萬圓は昭和八年三月三十一日迄利率を年四分とする事但し會社の融通先より總額において年四分を越ゆる利息ありたる時は原則利率年六分による利息相當額に達する迄その超過部分を共に預金部に納入する事

(前略)が聯盟から南洋廳の委任統治を開始して以來、來る十月一日をもつて滿十ケ年に當るが、昭和七年度から同廳の會計は一般會計から獨立することゝなつた、その主なる原因は砂糖出港稅、燐礦採掘代が逐年增加のため保護會計の必要がなくなつたためである

# 黑字に轉じた

## 三一――三二年度英國財政

## 意外なる好成績

【ロンドン三十一日發】英國は本日午後六時を以て千九百三十一―千九百三十二年の會計年度を終つたが、大藏省發表によれば

歲入總計七七〇、九六二、〇〇〇磅

歲出總計七七〇、五九九、〇〇〇磅

# 辭令

【東京三十一日發】

任高等女學校長 敍中學校長(三等) 平田芳亮

任旅順師範學堂長(三等) 敍中學校長 橫佩章吉

任旅順師範學堂敎諭(四等) 敍中學敎諭 新里朝明

任旅順師範學堂敎諭(六等) 敍中學敎諭 高尾朝信

任旅順師範學堂敎諭(七) 敍中學校敎諭 倉本德直

# 滿鐵硫安工場延期懇請

【東京三十一日發】窒素協議會では三十一日午前十時丸ノ內工業俱樂部に滿鐵の斯波、深水兩氏を招ぎ、今回滿鐵で千五百萬圓の硫安製造會社設立計畫中の如く傳へられてゐる事實なるや否やを質したに對し、右兩氏より右は事實である旨を答へたので、協議會側では現在內地硫安はやゝ過剩の狀態にあるため右計畫の延期方を懇請したが、兩氏は會社を代表せるものでないとて回答を避けたと、尚協議會では市況對策につき協議した

# ロシヤ大使館跡に移轉した拓相官邸

## ◇…感慨に耽る堀切次官

【東京特電一日發】拓務大臣官邸は今日まで借家であつた。毎月七百圓といふ家賃を拂つて麴町區下二番町に居身の狹い暮しをなしてゐた秦拓相閣下。既に天下は大政友磐石の基礎の上に立ち、臨時議會で鎧袖一觸、野黨を壓倒して以來、意氣正に天をつかんばかりの勢ひを示してゐる。

◇そこで秦拓相「こんな落つかない借家住ひより、永久的な官邸はないものかナ」と鈴木秘書を通じて、堀切事務次官に相談させた處「あのロシア大使館跡で宜しければ何とかなりませう」との事であつた。右の大使館跡の建物は、外務省と目下建築中の文部省との中間にあつて、やゝ高臺の眺望のよいところ、建物は木造洋建築であるが大使館跡だけあつて堂々たるもの

◇早速修繕費一萬餘圓をかけて外廓をスツカリ塗りかへ、室內の設備も全部新規にして見ると、まるで新築然たるものになつた。東

條秘書官や鈴木秘書官ぶまい事か

「こりや大したものだ」と、四月三日の吉日を選び引越しをする事になつた。

◇堀切次官も感慨深さうに語る「忘れもせぬ去年十二月十九日、若槻前內閣に於て、拓務省をいよいよ廢止と決し、即ち拓務院に縮小して今の本省をロシア大使館あとの草茫々たる處に移轉させようといふ閣議をやらうとしたところ安達內相の反目により急に內閣投出しと變つて、遂に犬養內閣の出現となりました。

◇拓務省が縮小されて押込められやうとした草茫々たるところをこんど手入して拓務大臣官邸にしたなんて全く妙な因緣と思はれます」

# 拓務省奉天に出張所を新設する

【東京一日發】內地農民の滿洲移住に就いて拓務省では鋭意研究中で今回連絡機關として奉天に出張所を置き本省の課長級の人物を常置させる事となつた永井文書課長棟居殖產第二課長の中から任命さみる筈、尚その後任には熊本稅務監督局在勤の副島昌氏が內定してゐる

# 山梨司令長官進級官記傳達

【東京三十一日發】吳鎭守府司令長官山梨勝之進中將に對し左の如く海軍大將親任の御沙汰あらせられる筈だが、中將は吳在職中につき親任式は行はせられず內閣より海軍省を經て官記を傳達する筈

任海軍大將 海軍中將正四位勳二等功五級 山梨勝之進

# 國民政府の輸入稅引上

## 愈よけふ實施か

【大阪三十一日發】市產業部着電によれば國民政府は四月一日から砂糖輸入稅十割引上に決定し、更に人絹稅の輸入稅も相當高率に引上げる模樣である

# 財界の危機去る

## 米實業家發表

【クリーヴランド三十一日發】クリーヴランド・トラスト會社副社長で米財界の有力者レオレード・マイヤース氏は本日聲明を發し

財界の危機は既に去つた不況は既に底を衝き之からは好景氣が始まる迄になつた國民は商品を買ひ好景氣來を助ければならぬと述べたが氏が先週上院銀行委員會でグラス官有案に反對した際不景氣は尚二年半續くと言つてゐる爲め其の豹變振りは奇異の感を抱かせる

# 漢口は靜穩

【東京三十一日發】鹽澤第一遣外艦隊司令官發、卅一日海軍省着電

漢口情報 當地租界防禦陣地は漸次撤收せり、支那側も攻防期間終了と名とし租界附近の防禦陣地の施設を撤去しつゝあり當地は目下のところ靜穩なり



# 匪賊の手先か射殺した便衣隊

【ハルビン特電三十一日發】關東軍倉庫支所前で射殺された便衣隊について調査されたところによれば賊はハルビン附近の匪賊手先らしく、三十日夕刻から附近の物陰で何ものとも分らぬ銃聲が頻りに聞こえてゐたので警戒中、午後八時ごろ倉庫前にあやしい自動車が疾風の如く驅るを認め歩哨井田六三郎一等兵が停車を命じたところ應じないので上等兵以下三名の應援を求め、誰何身體檢査を行はんとしたところ、矢庭にモーゼル銃を以て發射抵抗したので、わが兵四名は士氣によつて交戰、遂に賊二名を射殺した、賊は倉庫を襲ひ糧秣を奪はんとし樣子を見に入り込んだものである

# 政友新議員黨政策の實現を進言す

【東京一日發】政友會新代議士から成る壬申會は一日午後二時から黨本部に會合、追加豫算における黨政策實現に就き協議の結果實行委員を擧げ高橋藏相始め各大臣を歷訪進言する所あつた

# 定例閣議(一日)

【東京一日發】一日の定例閣議は午前十時首相官邸に開催し大養首相以下各閣僚出席、芳澤外相、秦拓相より新國家建設以來の經過を報告、これに對し質問應答の後、大藏省で計數整理を行つた七年度實行豫算を正式決定、ついで追加豫算に關して藏相に對し各閣僚から希望意見開陳正午散會した

# 溥傑、潤麒兩氏上京

執政溥儀氏の舍弟溥傑及び義弟潤麒の兩氏は學習院の授業開始が迫つたので三十一日午後四時長春發南行奉天一泊の上安奉線經由にて上京する由、尚出發に際して驛頭には滿洲國要人多數の見送りがあつた【長春電話】

## 社説

# 處女市場たる滿洲國
### 經濟政策の基調

由來滿蒙にありては住民の生活的安寧は害せられ、我が權益は權護せられず、爲めに永く經濟的發展が阻止された。其の最大の原因は、從來此地に政治らしき政治が行はれず、徒らに軍閥と匪賊との跳梁に委せられた點にある。この意味において、滿洲國の成立は、滿洲國民に對してはこよなき樂土の出現であり、我國にとりては安全な經濟的發展を約束する、新市場の生誕である。滿洲國人の事は今暫らく問はず、我新市場として滿蒙を見るに當りて、世人は「景氣は滿蒙から」と云つたやうな上調子な世論から、餘りに高く評價して居ないであらうか。之れ吾人の最も恐れる所である。吾人は此際我國人が倚十分に考慮を加へん事を望まざるを得ない。

◇

抑も我對滿蒙經濟政策の根本は日滿兩國民の共存共榮に在ることは言を俟たぬ。滿蒙を以て我が經濟的搾取の對象視するが如きことあらば、乃ち我滿蒙經濟政策はその第一歩において失敗に陷つてゐるのである。歷史上その實例は既に多々示されてある。而して共存共榮の實を擧ぐる所以は日滿を以て經濟上の流通的一體たらしむる所に存しそれの實現には人口の進出と資本の輸出と貿易關係の促進とに依らねばならぬ。人或は人口輸出の困難を理由として、資本輸出と貿易促進にみを以て我對滿政策の基調とすべしとする。併し之れは滿蒙の搾取對象視を、政策上に具體化せんとするものである。かゝる人的基礎を伴はざる進出によつて、確固たる經濟的結合は到底持續さる可きものでない。從來我對滿投資が巨億に達し乍らも、遂にその權益の浮動的たらざるを得なかつた最大理由は、實に此の人的基礎を缺いだ點にある。今後と雖も單なる資本輸出のみの對滿政策は、この失敗の歷史を繰返すに止まるものであらう。

◇

併し又一面から見るに、漫然と人口の移動のみを圖るのでは假令それが農民の集團的移動によるものであつても、第一には内滿兩地間の生活程度の甚しい相違の爲めに、第二には滿蒙における土着國民の商權の强烈なる爲めに、我移住民は到底發展出來まい。從つて人口移動方策も自ら失敗を來すの外はない。最近頻りに農民の部落的移動が計畫されてゐるが、假令部落的移動なりとも、一部落の封鎖經濟は出來ない事であるから、農產物を賣りて生產及び生活の資料を購入せねばならぬ。然る時彼等は既にそこに内滿人生活程度の相違から來る打擊と、土着滿洲人商權强大による壓迫とを免れ得ないであらう。

◇

されば人口進出の第一歩は先づ滿蒙の商權を掌握することであらねばならぬ。而して之を先驅として、徐々に我國民の農業的工業的土着を擴めて行くべきである。この滿蒙商權の掌握、土着人口の增加とにして成功するならば、貿易の增進は期して待つべきである。日滿貿易關係の基調は滿蒙の原料供給に對する我が高次產業の製品輸出であるが、滿蒙が我原料供給地たるには其の資源開發を前提とする此處に於て更に貿易進出の前提として、人口進出と共に滿蒙開發の爲めの資本進出が必要となる。

◇

更に世界經濟における貿易關係の趨勢を顧るに、最早對外商品輸出の時代ではなくなつて、對外資本輸出の時代となりつゝある。既に我國としても支那に對しては纖維工業其他に對し多額の投資を行つて來た。併し乍ら對支投資には市場における事業經營の不安といふ最大の缺陷がある。これは支那政情の不安定と對支經濟關係の不圓滑卽ち排日運動頻發等に基くものであつて、事局の一段落によりて或る程度までは緩和されるであらうが、南支に對しては吾人は我が投資市場としての餘り安心は出來ない。この點において最も有望なるは滿洲國である。そこには經濟上の機會均等を約束された新市場が展開されてゐる。この處女市場は人と資本の投下によつて耕されねばならないのだ。我が對滿政策の基調を其處に置くべきは云ふまでもない。

# 滿洲國からの借款
## 滿鐵その他で引受けん
### 預金部から滿鐵に融資し

【東京一日發】滿洲國より帝國政府に借款交渉あつた二千萬圓、償還期間五ケ年貸付につき一日の閣議で愼重協議の結果帝國政府の態度は事實上承認したとはいへ九ケ國條約その他國際上正式に承認したものでないから政府として借款に應ずる譯には行かない、然し新國家の成立をみた以上此の際合理的方法として滿鐵、東拓、朝鮮銀行等の特殊會社、銀行等をして貸付しめ、これに對して大藏省の預金部から一ケ年以下の短期貸付を行ふに決定した

【東京一日發】別項の如く本日の閣議で決定した滿洲國の借款に就いては秦拓相より滿鐵に交渉し其の應諾を得れば直に大藏省預金部より滿鐵に資本を融通し新國家よりの借款に應ぜしめる筈で其の金額は約三千萬圓程度であるとせ

## 滿洲移住の指導補助に
# 二百萬圓を計上

【東京特電一日發】拓務省に於ては來る五月の特別議會に滿洲移民指導補助に關する豫算約二百萬圓を提出すべく目下生駒管理局長の手に於て立案中であるが滿蒙移住熱の盛なるこの風潮を善處して今年中にたとへ少數なりとも堅實なる移住民を送りたいと生駒局長は極めて熱心に語つてゐる、當地の移住民指導は、從來の支那農民鮮農の權利は飽くまで尊重し日本人獨特の開拓をなさしむるものであるとせ

# 内地移民と並行して
# 鮮農を移住させる
### 一日來奉した　今井田總監談

今井田朝鮮政務總監は花井秘書官帶同一日午後一時着安奉線列車にて來奉した、驛頭には佐野主計總監、森島領事はか領事館員一名、花井勸業公司專務ほか官民名士多數の出迎へがあり直に驛貴賓室に入つて挨拶を受けた今井田政務總監今次の來滿は約十日の豫定で長春はか沿線各地を視察するが視察の結果は將來鮮農移民方針の確立を見るもので總監は語る

從來から鮮農の滿洲移民といふことについては別に確立した方針があつたわけでないが今後鮮農滿洲移民について或は方針確立することにならう、また今までは鮮農が朝鮮から北進滿洲に入つてゐたが今後は日本内地農村からも直接滿洲へ移民される事であり鮮農と並行移民を進めればならぬことゝなるからこの點從來の鮮農移民方針を變更考慮せねばならぬだらう、事變後既に朝鮮に避難した鮮農については再び滿洲へ還について別に方法は講じない【奉天電話】

# 滿鐵會社の資本は
# 八億圓に增資内定
## 年八分配當を保證か

【東京三十一日發】滿鐵增資案は來る特別議會（手續き運延せば通常議會）に提出さるゝ方針であるがその内容は現在の四億四千萬圓に三億六千萬圓を增資して八億圓となすことゝ内定してゐる、而して滿鐵幹部と政府當局は今後折衝の上滿鐵創立當時十五年間年六分の株主配當を政府が保證した制度を今回の增資と共に復活する模樣で同時に株主に年八分の配當維持の聲明を發するとせ

一、普通事業資金は積立金並に償却金、七年度豫算千三百萬圓）による

二、新規事業資金中、當面の資金はシンヂケート銀行團生保側の融資を受く

三、新規事業に要する將來の資金に當てるため增資を斷行す、增資額二億六千萬圓、現在の公稱資本金四億四千萬圓と併せ總資本金八億圓とす、增資の場合は一定期間（十年乃至十五年間）**政府は年六分の配當を保證し、同時に滿鐵は年八分配當の聲明をなしてもよい**、增資案は五月の特別議會に提出される模樣であるが間に合はねば今冬の通常議會に提案す

四、拂込徵收は增資と同時に行ふを上策とするが增資が遲れゝば今秋十月頃拂込徵收（二千萬圓見當）だけ先きに行ふ

### 資金調達
## 方法内定

【東京卅一日發】滿鐵の資金調達は大體左の方法により行ふに決定した

# 資金問題は漸く
# 目鼻がつく
### 江口副總裁近く歸任

【東京特電卅一日發】江口滿鐵副總裁は首藤、竹中理事等と協力政府及びシンヂケート銀行團、生命保險側などに交渉し夜資金の調達につき奔走中であるが時局柄融通つきしつかり腰を据えて所期の目的を達すべく民間有力者等にも相當諒解を求める程度の自信を得たるもの、如く三十一日正午在京經濟記者團を麻布狸穴社宅に招き午餐を共にしたる後、滿鐵の現狀事業計畫、資金問題等につき忌憚なき意見を發表懇談するところあつた、副總裁は近く大阪方面の實業家と會見、資金問題につき懇談の上四、五日頃歸任の模樣である

## 江口副總裁
## 大阪へ
### 一日夜離京

【東京特電一日發】江口副總裁は首藤理事、斯波顧問同伴一日午後九時二十五分東京驛發急行で西下大阪經濟俱樂部その他實業團首腦者と會見滿鐵の基金調達問題に就き了解援助を求むる筈であるが大阪は副總裁の第二の故鄕でもあり同情者多く有望視せられてゐる

# 日露の關係緩和
## 戰爭の脅威除かる

【モスクワ三十一日發】默殺を傳へられた日露間の關係も去る二十一日カラハン氏と廣田大使との會見内容公表によつて大いに緩和されたことは外國は勿論ソウエート政府内にも信ぜられる處で殊に日本が白系露人の政治的及び軍事的行動を禁止する事を聲明した事は日露間の戰爭の脅威を除去するに與つて力があつた

# 滿蒙移民の先驅に
# 智識階級と熟練工
## 社會局の方針決定

【東京一日發】滿蒙の新天地を目指して移住する者近來頓に多く社會局では之が對策につき調査中であるが、何分生活程度の低い國の農業並に勞働者の移民は可成り困難な事情にあるので、先づ智識階級の立場に立つ智識階級並に工業方面の熟練工といふやうな方面の紹介に主力を注ぐ事になる模樣である

## 軍隊か女優か
### 一女學生

◇私は女學生で生意氣かもしれませんけれど投書さしていたゞきます先日内地より軍隊慰問に女優さんがこられました、私は深く〳〵感謝して居ります。

◇ですが私も一つ遺憾に思つてゐる事が有ますそれは今までに濟山の兵隊さんがいらつしやりました、先日新聞に日活の女優さんが來た時に驛頭のガラスが三枚程こわれたと書いて有りました、女優さんがくれば我先に行くし、兵隊さんや軍隊が來れば行かないなんて相場がきまつてゐるでせうか、まさか

◇今日（三十日）準驛と驛に行きました、準驛の方は八時までに行くので少し早かつたかもしれませんけど、ほんのわづかの人でした、驛に行くとまた少く學生が大半をしめて大人の方がわりに少い

◇私は女優が來れば大人が多く兵隊さんが來れば大人が少いと思つてますがでも兵隊さんは私達のために身をこなにして國家のために、はたらいて居られます、ほんのわづかの時間が有れば準驛、驛に行かれます、大連の皆樣どうぞ〳〵少しの時間はついやしても行つて下さいませ、一女學生のおれがひで御座ゐます

×　×

### 水道の停水問題に就て
#### 係り記者

本問題についてはその後、一市民、警雪子、一讀者および西通り某氏の四氏から投書がありました。文意は大同小異で要するに不景氣の際であり水は生活の必需品だから簡單に停水されては困るといふ趣旨であります、しかし水道當局から出來るかぎり停水しない方針だと言明されてゐるのですから、この問題に對する討議はこの邊で打切りにします、たゞ「一讀者」氏の投書には突然停水された苦痛を述べた後「水道料金の未納といふことは未納者が惡いのですが今少し温情をもつて取扱つて戴くわけには參りませんでしやうか」とありましたことを附記します

# 今年の見本市は
# 小間數三割增加
### 内地では奥地で開催を希望

輸入組合の用務を帶び本年開催の第三回滿洲見本市打合せのため約一ケ月内地各地都市を歷訪した滿洲輸入組合聯合會中村常務理事は歸任の途次三十日夜來奉した三十一日午後矢部奉天輸入組合主事の案内にて城内に赴き、本年見本市開催、奉天の會場候補地たる同澤女學校及び城内四平街にある新築のビルディング等を檢分したが、かれて中村常務理事の歸來を待つて本年見本市の大連、奉天いづれに決するかについては中村常務理事が奉天における會場檢分を以て大體奉天開催に決定してゐる模樣である、右について中村常務理事は決定説を迷惑さうに語る

開催地及び期日については四月中旬に至れば滿鐵とも打合した上決定します、今どちらとも私は申上げかねます、然し内地の人は一般に大連よりは奉天に限らず奥地開催を希望してゐます然し實際取引の關係からみると大連あたりの大きなところがよいと思ひますが、内地に行つて見て國商工業者の滿洲熱の高いには驚かされました、從つて本年は見本市出品小間數も三割は殖え六百五十以上に上ると確信します【奉天電話】

# 不況、銀安、事變に
## 前年度より一千三四百萬減
### 退職給與積立金て鹽梅せん
# 六年度の滿鐵決算

滿鐵の昭和六年度決算見込に關しては曩に中央政府の要求により本年一月末現在の業績を基礎として豫算を作製し先月中旬大垣主計課長、永廣決算係主任等が携帶上京し大藏、拓務兩省方面への説明も終へ先般開催の滿鐵監事會においては

### 今期配當

は民間二分減の六分政府二分とすることに内定政府の諒解を得たるもの、如くである、六年度の各事業部門の實績は前年に引續き深刻化せる國際恐慌銀價の下落並に後半期に入りて突如勃發せる事變の深甚なる影響のため年度初めの認可豫算における收入見込は總次更正を餘儀なくされ營業收入の王座を占むる鐵道が既報の如く前年度に比し六百卅餘萬圓の減收であつたのを始めとして炭礦約六百七、八十萬圓、製鐵約二百萬圓見當と何れも豫期された程度の赤字を結果したゝめ總收入は前年度に比し千三、四百萬圓減の一億七千三、四百萬圓を概算されるに至つた、一方

### 營業支出

においては機械化による炭礦經費の節約、不良炭原價の低下其他鐵道關係の輸送費の節約合理化、總體費の自然減等により可成り節減し得たるもの、如くであつて目下それ〴〵據當箇所においてこれが精算を急いで居り正確なる數字は不明であるが大體左の如き各部門の營業實績の概況並に既報の鐵道收入等よりみて今期純益金としては七、八百萬圓程度を計上するものと觀られてゐる而して政府が肩替りして英貨社債の利拂ひに充當するための四百三十餘萬圓、民間配當一千二十萬圓法定積立三、四十萬圓のみを以て旣に千五百萬以上に達するを以てこれが

### 補塡策と

しては財產償却關係並に主として社員退職給與積立金（八百五十萬圓）において適當に鹽梅することゝなる模樣である

### ▲鑛業收入（約五千五百萬圓）

本年度最初の出炭計畫量は撫順六百八十萬噸であつたが三月末までの實際實績は正炭六百廿萬噸を減じ本溪湖廿二萬、煙臺十五萬、煉炭約七萬總計約七百萬噸で前年度に比し販賣量においては約廿六萬を減じたのみであるが販賣單價において撫順炭噸當平均一圓二、三十錢減少せるため手取關係著しく不利となり賣上高において前年比六百七、八十萬圓、豫算面より約五百萬近い減收を結果した而して不振の主因は銀安、事變による地賣の激減ならびに南支市場への輸出が後半期において殆んど杜絶せるためである

### 製鐵收入（約四百六十萬圓）

本年度計畫量は廿五萬屯であつたが各仕向先とも販賣成績良好で内地市場廿萬、地賣一萬、天津、上海、靑島方面へ各一萬その他全部で約廿六萬噸となり前年比約十萬を增加する好績を示したが石炭同樣單價の下落より手取關係において噸當十圓以上の減收となつたゝめ前年比約二百萬圓、豫算より約二百五十萬を減じた、重要なる副產物硫安もまた南支市場の不振、市價下落のため案外振はずベンゾール の如きものは時局關係より販賣成績極めて良好であつた

### ▲製油收入（約三百萬圓）

創業第二年目の實績としては生產、販賣共極めて順調に進行し海軍納入量は豫定の如く約四萬噸、パラフインも日本精蠟より一萬五、六千噸を出し其他硫安コークス等の副產物を含めて前年より約二十八萬圓の增收であつた

## 組合長の椅子を廻り
# 早くも暗中飛躍
### 大連三業組合役員改選期迫る

大連三業組合では來る四月三日の役員改選を控へて次回組合長の椅子をめぐり早くも暗中飛躍が行はれてゐるが、現役員側では次回組合長に現組合顧問菊田鉢之助氏の出馬を促し數日前某所に菊田氏を招し意志を質すところあつたが、同氏は未だ管理人も解いてならず家事上の都合もあつて極力辭退したので、結局前組合長白川淳氏を推すことに内定してゐるらしい、然し白川氏も出馬の意志全くなく推薦されるも極力固辭する肚にある模樣で、次回組合長は人選難に陷るものと見られてゐる、結局は組合長に現副組合長田中藤太郎氏が推され、副組合長には適當人物を物色するに至るものと見られてゐる

# 刑事課は廢止せず
## 旅順警務局内に移管

一部に廢止説の傳へられてゐた大連の關東廳警務局刑事課は四月一日から旅順警務部を主任者として警務局内に移され執務してゐるが同課の組織關係は依然大連に殘置するさうだ

## 大汽定時總會

大連汽船會社定時總會は既報の如く三十一日午前十一時より同社に於て開催、昭和六年度後半期決算書並に利益金處分案は先づこれを可決したが社長安田柾氏の任期滿了による改選に及んで株主たる滿鐵側と安田社長との間に紛議を生じたるもの、如く午後二時半に至つて一先づ散會したが、社長の改選は圓滿に解決せざりしは推測に難くなく、滿鐵側としては何れ近く後任の決定をみるに至るものとの口吻を漏らしてゐるのみで、大汽の各重役は勿論株主側も會議の内容に就いては固く口を緘して語らぬ

## 天津へ遡航不能

河の流れが再び淺くなり塘沽より天津への遡航が不能となつた由であるが、大汽では取敢ず一日大連出帆天潮丸を塘沽止めとする事とし次航海より天潮丸同大連、威海衞、芝罘、龍口島航路に延ばしこれに代るに今日迄同航路にあつた長平丸をあてる事とした

## 公學校敎諭等の異動

滿鐵學務課では三十一日午後左の如き公學校敎諭其他の異動を發表した

奉天公學校敎諭　隅　清擧
命瓦房店公學校敎諭
公主嶺公學校敎諭　庵原　謹
命松樹公學校敎諭
長春公學校敎諭　北川　稔
命開原公學校敎諭
學務課遼陽在勤　大森　壽一
命撫順公學校敎諭
撫順公學校敎諭　飯塚　計作
命遼陽日語學校敎諭
鐵嶺日語學校敎諭　野島　正信
命學務課勤務海城在勤
遼陽幼稚園保姆　加藤　八重
命開原幼稚園保姆

## 一面坡寧古塔に警察分署

【ハルビン特電三十一日發】ハルビン總領事館は一面坡及び寧古塔に警察分署を設置することになり三十一日午前十一時一面坡には三十名、寧古塔には三十三名警官隊が出發在留民内地人三十名、鮮人二百名もともに歸還した

三十一日天津支店より當地大汽本社への入報によると雪解けの爲白

## 大觀小觀

新京長春が新滿洲國の首都に決まつた以上、おのづから其處に大都市の建設計畫が生れねばならぬ▲新政府當局は早くもその設計に取かゝつてゐるさうだが、それが三百萬人の人口を包容する素的もない大きなものださいふ▲處にある水の問題がどうかといふのが都市の建設と絕對不可離の關係で、大分當局の頭を惱ましたらしいが▲この方は例の水の縣樣、關東廳の濟水技師が仔細に研究した結果、この地方一帶の地下水が頗る豐富なことが確められ、新都市供給の水はこれを地下水に求むることゝして、先づ根本問題も苦もなく解決、こゝにこの新京が長しへに榮え行くことゝなつたのださうだ▲聯盟調査員の一行、上海から南京にかけては、毎日のご馳走攻めで可なりへコタレさせられたらしいが、これを聞いた日本側では、一行の滿洲視察には、最初の方針通り、斯くも一行の自由行動を妨ぐるやうな歡迎方法は一切避けて四邊無聊、勝手に好きな調査の出來るやう取計らふ筈ださいふ一行にとつてどちらがお氣に召すか

# 讀者慰安映畫會

映畫（滿洲日報社撮影）
一、滿洲國建國式　三卷
　奉天建國促進運動、長春における溥儀執政の就任式祝賀觀兵式
二、滿洲國の產業側面　前篇二卷
　吉林、文化、實況
三、遼西の掃匪　五卷
　滿鐵鐵道部撮影

日時　四月二日午後七時
場所　春日小學校
場内整理料として金十錢申受けます

主催
奉天滿洲日報社
弘文堂
大毎
義道洋行社

## 市況（一日）

### 株式
## 東新引小䆁り
## 當市弱保合

内地主力株の後場寄保合なるも當市は人氣稍弱く五品錢鈔は三四十錢安新豆は保合東新は内地の引小䆁りを入れ小一圓高に引締つた

◇定期後場（單位十錢）

| 銘柄 | | 當限 | 先限 |
|---|---|---|---|
| 新豆 | 寄 | 二三三 | |
| | 引 | | |
| 錢鈔 | 寄 | | |
| | 引 | | |
| 氷新 | 寄 | | |
| | 引 | | |
| 豆信 | 寄 | | |
| | 引 | | |
| 五品 | 寄 | 二五四 | 二五六 |
| | 中 | 二五四 | 二五六 |
| | 引 | 二五四 | 二五六 |

◇延取引

| 銘柄 | 寄値 | 高値 | 安高 | 大引 |
|---|---|---|---|---|
| 五品 | 二三五 | 二三五 | 二三四 | 二三五 |
| 新豆 | 三三三 | 三三三 | 三三三 | 三三三 |
| 錢鈔 | 二三九 | 二三〇 | 二三九 | 二三九 |
| 氷新 | ― | ― | ― | ― |
| 大新 | ― | ― | ― | ― |
| 東新 | 一六三九 | 一六三〇 | 一六三九 | 一六三〇 |
| 鐘新 | 八三 | 八三 | 八三 | 八三 |
| 滿鐵新 | 三六 | 三六 | 三六 | 三六 |

### 錢鈔
## 當市緩む
### 日米反騰

日米後場が二回に亘つて四分の一方恢復したので當市一圓寄に緩む

◇定期後場（單位錢）

| | 寄付 | 高値 | 安値 | 大引 |
|---|---|---|---|---|
| 期近 | 二二六〇 | 二二六五 | 二二五五 | 二二六五 |

出來高　期近三百七十四萬圓

◇現物後場（單位錢）

| | 銀對金 | 銀對洋 | 金對洋 |
|---|---|---|---|
| 一時半 | 二三〇 | | 一六三〇 |
| 二時半 | ― | | ― |
| 三時半 | ― | 一二五 | ― |

出來高　銀對金八萬六千圓　銀對洋五千圓

### 商品
## 麻袋見送り
## 綿糸保合

●綿糸　大阪三品大引は各限保合を入れ當市はマバラの新規買で相當手合せをみた

| 銘柄 | 約定期 | 値段 | 梱數 |
|---|---|---|---|
| 福助 | 七月限 | 一四〇二 | 一〇〇 |
| 同 | 八月限 | 一四二二 | 一〇〇 |
| 同 | 九月限 | 一四二四 | 一〇 |

出來高　二百十梱

●麻袋　出來不申

### 特產
## 輸出筋買進に
## 豆と油昂騰

後場の定期は輸出筋の買進みに大豆、豆油は昂騰を辿り他品又伴れて强調を示したが場面閑散に大引

◇定期後場（限建）

▲大豆（單位厘）

| 限月 | 寄付 | 高値 | 安値 | 大引 |
|---|---|---|---|---|
| 四月末 | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 五月末 | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 六月末 | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 七月末 | ― | ― | ― | ― |
| 八月末 | ― | ― | ― | ― |

出來高　六十五車

▲普通大豆　出來不申

▲豆粕（昂騰）單位厘

| 限月 | 寄付 | 高値 | 安値 | 大引 |
|---|---|---|---|---|
| 四月限 | ― | ― | ― | ― |
| 五月限 | ― | ― | ― | ― |
| 六月限 | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 六月末 | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 七月限 | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] |

出來高　四萬枚

▲豆油（昂騰）單位錢

| 限月 | 寄付 | 高値 | 安値 | 大引 |
|---|---|---|---|---|
| 四月限 | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 五月限 | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 六月限 | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] |

出來高　八千箱

▲高粱（昂騰）單位厘

| 限月 | 寄付 | 高値 | 安値 | 大引 |
|---|---|---|---|---|
| 四月末 | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 五月末 | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 六月末 | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 七月末 | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 八月末 | ― | ― | ― | ― |

出來高　二十四車

▲包米　出來不申

◇現物後場（鉄道）

| | 寄付 | 大引 |
|---|---|---|
| 混保（後込） | 四六〇〇 | 四六七〇 |
| 大豆（裸物） | ― | ― |

出來高　五十車

| | 寄付 | 大引 |
|---|---|---|
| 普通大豆（裸物） | 四五五〇 | [illegible] |

### 奥地市況

▲哈爾濱大豆

| 限月 | 値 |
|---|---|
| 四月 | 七七〇〇 |
| 五月 | 八〇〇〇 |
| 六月 | 八三〇〇 |

▲哈爾濱小麥

| 限月 | 値 |
|---|---|
| 五月 | 一、六六〇 |
| 六月 | 一、六八〇 |

▲奉天票　現物　[illegible]
▲奉天大洋　現物　七一、〇〇　先限　一四〇、九〇
▲開原大洋　現物　七〇、五〇
▲哈爾濱大洋　現物　五五、〇五
▲安東鎮平銀　當限　一、〇一七　先限　一、〇二〇

豆粕出來高　二十車
豆油出來高　五千枚
高粱出來高　五千箱
包米　出來不申

### 市場電報

#### 神戸特產

| 銘柄 | 値 | 先物 |
|---|---|---|
| 大豆現物 | 四六〇 | |
| 豆粕現物 | 一三五 | |
| 滿鐵小麥 | | |
| 豆油現物 | | |

#### 東京株式（長期）

| 銘柄 | 後場寄 | 後場引 |
|---|---|---|
| 東株 | 一六三四〇 | 一六三四〇 |
| 東新 | 一六四七〇 | 一六四七〇 |
| 五品 | 二四九〇 | 二四九〇 |
| 中 | 二五〇〇 | 二五〇〇 |
| 先 | 二五一〇 | 二五一〇 |
| 豆信 | 不申 | 不申 |
| 新 | 不申 | 不申 |
| 中 | 二三七〇 | [illegible] |
| 先 | 二三六〇 | [illegible] |

#### 東京株式（短期）

| 銘柄 | 寄値 | 引値 | 高値 | 安値 |
|---|---|---|---|---|
| 東新 | 一六一七〇 | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 鐘新 | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 滿鐵新 | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] |

#### 大阪株式

| 銘柄 | 後場寄 | 後場引 |
|---|---|---|
| 大株 | 七八三〇 | 七八三〇 |
| 大新 | 七二二〇 | 七二二〇 |
| 鐘紡 | 二〇五二〇 | 二〇五三〇 |
| 鐘新 | 九四五〇 | 九四五〇 |
| 東新 | 不申 | 不申 |
| 日糖 | 一六三九〇 | 一六四〇 |
| 郵船 | 不申 | 不申 |
| 滿鐵 | 不申 | 不申 |
| 滿鐵新 | 五六六〇 | 五六六〇 |

#### 大阪期米

| 限月 | 後場寄 | 後場引 |
|---|---|---|
| 四月 | 二三六五 | 二三七四 |
| 五月 | 二三三五 | 二三二五 |
| 六月 | 二四八二 | 二四八五 |

#### 神戸期米

| 限月 | 後場寄 | 後場引 |
|---|---|---|
| 四月 | 二三七九 | 二三八五 |
| 五月 | 二四二三 | 二四二三 |
| 六月 | 二四七九 | 二四八九 |

#### 東京期米

| 限月 | 後場寄 | 後場引 |
|---|---|---|
| 四月 | 二三七一 | 二三七九 |
| 五月 | 二四三三 | 二四三七 |
| 六月 | 二四八〇 | 二四八二 |

#### 大阪綿糸

| 限月 | 後場寄 | 後場引 |
|---|---|---|
| 四月 | 一三五八〇 | 一三五七〇 |
| 五月 | 一三八三〇 | 一三六三〇 |
| 六月 | 一三八九〇 | 一三八六〇 |
| 七月 | 一三九八〇 | 一三九八〇 |
| 八月 | 一四一七〇 | 一四〇九〇 |
| 九月 | 一四二〇〇 | 一四二三〇 |
| 十月 | 一四二三〇 | 一四二一〇 |

# 家庭

## 女學校を出たばかりの　お孃さんに相應しい和服の着附は此樣に
### 永く着馴れた洋服を捨てゝ

女學校を卒業なすつて殺風景な洋服から華やかなゆつくりしたきものにお召替へのお孃さま方の姿はこの上なく輝かしく嬉しさうです、しかし小學校から女學校へかけて十年の餘りも殆どきものらしい着物をお召しになつたことのない方がほとんど大部でせうから、いくらひいき目に見てもその着こなしのなつてゐないのも無理のないところでせう

◆…それではお着附をどうすればよいか近頃の女學生の方は大變體格がよくて結構ですがあの怒つた肩では和服はうまく着られません、いきを一つ大きく入れて肩を落してそして眞すぐにお立ちになる氣持で召してごらんなさい、御襟は御紋服や訪問服以外はせま襟で肩の繰返しもない方が若々しいでせう、肩揚げは可愛いものですが、柄の多きな方はお止めになつた方が格好がよいやうです

◆…さていよく\お着附けになりますが何より大切なのは長襦袢でこれが着附の基礎になるものなのです、長襦袢の上からお乳の上を輕く伊達巻で卷いておきますと度は上のお召物です、低い草履をお穿きになるのでしたら裾が草履から離れぬ程度に厚いお履物でしたら足袋のかゝとが裾にかくれる位にして先づ上前の調子をとつてから下前をぎゆつとしめて自然に下前の先を少し折曲げ褄先を五分位上り加減にして上前も心持褄先を上げ加減に前を合はせます

◆…下前の先が曲げてないと歩きにくいし褄先が下つてゐるとだらしなく見えます、これで腰骨の少し上を腰帶で締めおはしよりの格好をつけて前は乳の上から内側に向けて一つづゝ後は襟明きから自然、背筋に向けて一つづゝ襞を寄せて半襟は縞目に長く見せてその上を伊達巻で締めます、この胸と背の襞で肩巾がずつと狹く見えます、これで着物の形が整ひました、今度は帶ですが帶はあまり高いのは野暮で又胸が窮屈でたまりません

◆…帶のまはる下に一つしよに揚げを締めてその上に帶をまはしますとそんなに固く帶を結ばなくても絶對に形がくずれたり下つたりすることはありません、帶揚げも不斷着の場合でしたらほんの一寸のぞかせた程度が上品で廣げて締めたのは下品です、帶締は帶の中央にきつちりしめますといかにもあどけなく見えます（エンゼル美容院松下夏子さんの話）

## 春へかけての家庭衛生（J）
## 多いトラホーム
### 手先やお顔を綺麗に
眼科專門醫　三根辰一氏談

★…春になると急に人の出入りが繁くなり自然病氣に感染する機會も多く、眼病の罹病率も一年を通じて四月五月が最も高いのです。つまり滿洲の春は空氣が乾燥してゐるのに風がひどくて塵埃が多い上に、氣溫が菌の繁殖に都合よくなるからです。眼病の半數を占めてゐるのはトラホームですが、在滿日本人の約二割まで、支那人はその三割以上がトラホーム患者だと推定されてゐるのですから、その中に住んでゐる私共はよほど注意しないと何時どこからおそろしいトラホームの黴菌をうつされるかわからないのです。

★…大體この病氣は殆ど眼を不潔にする所から起るもので、不潔な家庭ほど罹病者が多く、汚い家の中で顏も體もまつ黑にしてゐる人ほどトラホームにかゝり易いのですから自然下層階級に多いことになります、しかし清潔な家庭でも雇人などからトラホームをうつされることが珍しくありません、派出婦、附添の婆さん、女中或はお産婆さんなどにも相當トラホーム患者がありますし、殊に青年期の支那人ボーイなど殆どその半數がトラホームを持つてゐますから、小さい抵抗力の弱い幼兒などをこんな雇人等に任せることの如何に危險であるかは申上げるまでもありますまい。

★…眼病に限つたことではありませんが召使を雇入れる場合豫じめ健康診斷をすることは家族の健康を保つ上に是非實行して戴きたいものです。常に身體、身のまはり、持物を清潔にして子供には特に氣をつけて手先や顏を綺麗にさせる事も大切です。これから埃が多くなるとよく眼に埃のはいることがありますがきたない物でこすつたり傷をつけたり充血させたりするのは大變危險ですし、矢鱈に水で洗ふのもよくありません、小さいゴミでしたら靜かに眼をつぶつてゐますとゴミの刺戟のために獨りでに涙と一しよに流れ出ます

## 尋常一年の　擔任教師から保護者方へ（中）
### 幼兒童を斯く指導したい
南山麓小學校　佐藤一氏（談）

**畏怖心も強い**

小さい時に犬から、かまれると大人になつても小犬すら怖い、經驗した恐ろしさは仲々去りません。人類發生當時に惱まされたであらう蛇は殆ど總ての人が嫌ひます。卽ち遺傳的畏怖心。一寸した事から次から次への怖さを想像して行く想像的畏怖心、斯うした畏怖心はこの頃の子供には可なり強いものです。

……これ程大きな生活の變化がこれ迄あつたでせうか。樂園の家庭から新しい學校生活へ勝手の判らぬ廣い校舍、恐ろしさうな先生、知らぬお友達、總てが子供の脅威です。擔任教師の一言一行はとかく子供の畏怖心誘發の原因になります。私はうんと遊みたいと思つてゐます、と同時にお家庭の方が子供の一寸したいたづらを、すぐに先生に明日は申し上げるなどと言つて教師を恐ろしい小父さん扱ひにせぬやう、やさしい先生にしていただき度いと願ひます。

**競爭心が強い**

競爭のない所に個人も社會も國家も發展はしない。この大切で必要な心が非常に多いのもこの頃です。うんと利導して行きたいが、餘り過度に濫用する時、そこには唯勝つ事のみを目的とする賤しい品性が造られて來ます。とかく物は適度です。

**好奇心が強い**

新奇の感覺を求める好奇心、求智する好奇心、好奇心は最もこの頃が旺盛です、目、耳、總ての感覺にふれるもの皆これ好奇です、そして疑問です、そこには盛に質問となります。この又となない質問時代を私等はどうして逃してなりませう。是非うまく解答してやつて下さい。

**おだてのきく時代**

競爭心、好奇心、純眞性、衝動性等の強い時代が、おだてのきく時代です。おだてに乗る時代が教育しよい時代ともいはれます。おだてろ。と言つても惡くとりたくない。よい意味で利用したい。これも餘りすぎては陶冶性が慢性となります。やはり適當にです。

**記憶よりも直觀**

百聞は一見に如かず。が直觀の意味です。聞かせるより見せよ。觸らせよ。直觀させるが何より早途です。この期の兒童はよほど反覆練習せなければ、こちらの願望する事を記憶に止めてくれない。世には物おぼえのいゝ子供があるけれども記憶心の働きによつてかち得たものでなく、多くは直觀の結果です、記憶より直觀です。



## 一冬外出のお伴をした　ショールのお洗濯
### 毛織物と毛皮物の後始末

暖かになつて來ました、一冬を外出のお伴をしつゞけたショールはかうして大切に後始末してしまひませう

▼…ファーショール＝毛織を洗ふ例により石鹸は極上等を奮發しますマルセルかラックスならば申分ありませんいくらよい石鹸を使つても洗濯屋に出す何割かの費用ですむのですから有合せの惡い石鹸をつかつて仕上げをよい加減なものにしてはなんにもなりません

▼…ショールがつかる程のぬるま湯にラックスならば大匙三杯（入れ過ぎても餘分の石鹸分は、汚れを落す爲に特別の作用をしませんから無駄です）を入れすつかり溶かして白い泡を立たせます、この中にショールを漬け色の落ちぬものでしたら一二時間置きますと垢はすつかりゆるみます、洗濯板の上に取り掴み洗ひをします、この掴み洗ひといふ事が急所なので布の上から眞直に抑へるやうにつかんではなしするので決して布と布でこすり合せるやうな事は禁物です、これを數回繰返し、ぬるま湯で充分ゆすぎ出し、布をひねつてしぼらずに水を切り、濃目の醋酸水に入れてアルカリを中和させ水洗ひして日陰干にします、たゞレーヨンが入つてゐるショールでもこの方法で宜しい、裏の綸子縮緬又はレーヨン縮地をゆのしすると自然に表の毛も立ちますからその上を表にもう一度ブラシをかけ風干をして金巾に包みナフタリンを入れてしまひます

▼…毛皮ショール＝毛皮のショールでしたら埃を拂ひブラシをかけます、テレビンを眞綿につけて幾度もこすつてよごれを落し日陰干にして片付けますが葛粉、又はエンスターチを毛の表面にうすくまぶし濕氣の入らぬようトタン張りの罐に樟腦を入れて貯へて出すまで決して罐を開けぬやうにしますと毛先もいたまず長く保存が出來ます

## 少年よみもの　父と子（六）
政本いさむ

それにしても、どうして學校へやらうかなあ。お母さんは又淋しい今の生活を考へればなりませんでした。食べることさへ出來かねてゐる今の生活に學校へやるなどゝいふことは、どう考へて見ても叶はぬ望みでありました。が、いろく\考へた末、ふと思ひ付いたことがあります。お嫁に行つてゐるあの姉さんのうちへたよつて行かう。どんなにでも働いて玉明だけを教育して貰はうと

決心したお母さんは姉さんのうちを尋ねて行きました。姉さんのうちは可成りの暮しをして居りましたから。でもあまりいゝ顏はしてくれなかつたのです。が兎に角置いてやらうといふことになりました。姉さんはみすぼらしい妹の姿をつくぐ\見ながらいひました

「まあ、お前はどうしてそんなに落ちぶれたの？」

お母さんは今迄のことを一つ殘らずお話しました。

「もう二年です。そしたらお父さんが歸りますから」

「馬鹿だね。そんなもの當にしてゐて、何で歸るものかへ。だまされたのも知らないで、本當にお前は相變らずのお人よしだから」

「でも乾度歸ると思ふの」

「まあ當にしてゐるのもよかろうで、お便りでもあるのかい」

「いや何の便りもありません」

「そうれ見なさい。本當にお前や子供が可愛いのならなんでお便りをしないで置くものか」

お母さんは何だか不安になつて來ました。でもやつぱり歸るに違ひない。わたしを捨てるなんて、そんなわけはない。

もとの李家にしようと強い決心をもつて行かれたんだもの。疑ふなんてもつたいないことだ。お母さんは心の曇をすつかり打拂ふのでありました。

やがて玉明は村の學校へ行くことになりました。お母さんの喜びはどんなであつたでせう。風呂敷包をしよつて出かけて行く可愛い後姿をいつ迄も見送つてゐました。

玉明は學校ではお友達の誰よりもすぐれて物覺がよかつたのです。姉さんのうちにも子供がありました。同じ學校に通つてゐますが、毎日いたづらばかりして、ちつとも勉强など出來ないのです。玉明がよく出來るのをねたんで、いつもいぢめてばかりゐました。

「こら、てゝなし子」

さういつては大人しい玉明を待ちぶせて、ぶつたりけつたりしました。それに近頃は姉さんまでが玉明につらく當りました。

「人のうちに厄介になつてゐながら何一つしないで。親が親だからあんな甘つたるい子になつてしまふんだ」

など、陰口ばかり利いてゐましたそれが今では眼の前でも平氣でいふやうになりました。

# 滿日各地版

## 有福者は逐年増加の傾向
### 旅順管内の生活調査

【旅順】下層階級の生活苦、農村の疲弊は何處も同じであり之れが救濟打開に就いては多大の苦心と研究が拂はれつゝある今日旅順管内に於ける各村落方面の生活情況に就き這般來旅順農會に於て調査したところに依ると管内六會の全戸數一三、二九三戸中有福者としては約三割一分七厘、貧困者としては六割八分といふ正確な數字が現はれた、然し之れを五年前に比較すると有福者は二割五分六厘の増加率を示し逐年好い方に向つてゐることが判明した、調査した管内各會を通じ食糧調査の結果は

- 過不足無き者 二、二〇〇(約一割七分)
- 餘分ある者 一、一四三(約八分六厘)
- 八ケ月分有する者 一、九六八(約一割四分八厘)
- 六ケ月同 二、〇六九(約一割五分[illegible]厘)
- 三ケ月同 三、七三〇(約二割八分[illegible]厘)
- 全部購入 三、七〇三(約二割七分七厘)

で一番有福者の多いのは矢張り三澗堡會、最低は王家店會である

## 滿鐵ハルビン事務所の組織を變更
### 運輸係に主力を注ぐ

【ハルビン】滿鐵ハルビン事務所は滿洲國の内容充實と共に自然その涉外事務その他に變化を來たしたのでその組織變更を近く斷行する模樣である、先づ情報調査事務は滿鐵本社が新京に全力を注ぐ方針に從つて北滿一帶に關する情報及び調査は新京に集中することゝなりハルビン事務所の情報係及び調査係は廢止或は縮小さるべく又勸業係は札免公司問題が當然中央に於て解決され貿易館も近く廢止されたので輸入組合に關する事務は庶務係に於て擔當し勸業係は廢止される模樣である、その代り現在の運輸係に主力が注ぎこれを擴張してハルビン運輸事務所と改め面目を一新すると

## 滿洲國の各鐵道完全に連絡
### 守備兵の嚴重警戒と派遣員の活動に感激

【奉天】四洮、洮昂、東支、吉長、吉敦、吉海、瀋海、奉山の各線における運行、聯絡、旅館、旅客の動き等の状況につき三月十五日から二週間に亘る視察を終へ歸奉した瀧藤奉天驛事務主任は左の如く語つた

**奉天を** 出發して鐵嶺に赴いた時匪賊討伐のため南下してゐた張海鵬氏と同じ列車に乗り合せた、張氏はこの時局が落ちついたなら日本へ政治の研究に行つて見たいと云つてゐた、張氏は餘程日本人の氣質を飲みこみ車内でその副官らしいものが煙草の吸殼を車内に捨てたのを自分で之を拾ひ上げて他に捨てたといふほどの人物である、鄭家屯で奉天より赴いた派遣員の活動振りを見て來たが同地では衣食住も不便で全く文字通り

**汗水で** 働いてゐるのには涙ぐましく感ぜられた、チチハルは各地と比較して最も新興氣分が濃厚であつた 零下十何度の寒氣をものかは百燭の電燈をズラリと並べ飲食物等の露店を開いてゐるなどは今までどこにも見られない目新らしい事であつた、同地の旅館は滿員で一般に日用品が不足してゐるやうである、從來は洮昂線の昂々溪から東支線に乗りかへてゐたが現在は龍江まで延長され楡樹屯から中東驛に出て東支線に聯絡してゐる、チ・ハルの飲食物は餘程安くて鯉とか川めばるとかよろしいとかいふ

**珍魚が** 附近の河からとれるので山海の珍味といふばかりでなく値段も安くローカルの氣分を滿喫せしめる齊克沿線各驛には三千車乃至は五千車の特産があり合計八千車の特産があらうと云はれてゐる、同地附近は東鄕前哨衛兵を出しても危險であつたが現在ではその必要もなくドシ／＼視察に出かけてゐるハルビンも事變前よりは却つて安全となつてゐる、呼海線は目下匪賊討伐中である、敦化も平穩となり町そのものは決して危險なことはない、敦化から再び吉林に出で吉海線瀋海線を經て更に

**奉山線** に入つた、山海關には二日宿泊した旅館と料理店とが二軒宛ある、しかし同地の民會ではこれ以上日本人を入れないといふことであつた、奉山線と北寧線との聯絡は山海關驛のホームを隔てゝ行はれてゐる同じ室を二室に分けて一方は北寧線、一方は奉山線と夫々事務員が執務してゐるのを見て餘程氣持よく感じた漸次時局も落ちつけば奉天その他から避暑地として期待される處であらう、胡蘆島は築港工事を中止したまゝとなつてゐるが

**解氷後** 苦力三百名を入れ着工することゝなつてゐる、同方面は日用品缺乏し從つてその値段も幾分高價である、一體に各線とも時間通り列車の運轉をなし充分な聯絡を行つてゐるのには驚かされた、列車は矢張り東支線が最も清潔であつた、茲に特に申し述べたい事は晝夜を分たず守備兵が嚴重警戒に當つてゐることゝ寒風に吹きさらされくすぼれたまゝ働いてゐる派遣員を見て全く感激した

敦化を中心にして「滿洲國」顚覆を企て檢擧された一味

## 興京間幹線道路改修計畫暗礁へ
### 滿鐵本社諒解せず

【撫順】奧地興京(新濱)縣下の農産物吸收と興京撫順の交通上の見地から豫て撫順縣乃至は附屬地實業協會よりその實現を要望されてゐた、興撫間幹線道路改修計畫に就ては炭礦事務の贊成を得て目下極力滿鐵本社の承諾を得んと努力中で過日來宮澤庶務課長も右用件を帶びて大連に出張諒解に努めた、右に對し本社としては撫順自體がその必要なることを主張し實行を要望する主旨は充分わかるが右の如き問題は撫順に限らず沿線各地とも同樣であるので撫順だけ許可するわけにゆかぬ狀態にあり折角經濟調査會等に於ても滿洲の道路計畫といふ大題目の下に調査中であるといひこともと炭礦側から要求してゐる本年度支出の第一期工事費一萬六千圓すら不能の模樣で暗礁に乘上げた

## 窓から投げた包から武器と彈丸が出る
### 三十日夜、湯崗子驛附近で

【鞍山】三十日午後七時四十八分鞍山驛發營口行二十二列車が同夜八時十分頃湯崗子驛北方約三丁の地點を進行中、前部三等車乘客の一支那人が風呂敷包一個を窓より投げたのを列車到着と共に探知した湯崗子派出所東中道巡査は巡捕及び偵の二名を同行現場に至り搜索せるに前記場所線路際に投棄しある風呂敷包を發見し押收取調せるにモーゼル一號拳銃古品二挺彈丸百七十發、ブローニング一號拳銃新品一挺、彈丸百發、長銃彈丸四百發、裝彈子一個が現れたのでてつきり武器密賣者の所爲と睨み直に湯崗子驛に引返し嚴重探査の結果、犯人は同列車にて下車した湯崗子村居住冷福春(二五)と判明せるも失敗に終つた事を感知せる犯人は逸早く逃走行方を晦ましたので引續き嚴探中である

## 奇特な車夫
### 置忘れの大金を持主へ

【奉天】山東省生れ奉天大西關居住洋車夫窄丙清(四〇)は日本人某氏を乘せ去る廿五日柳町に赴いたが某氏は雜踏にまぎれ現金百數十圓入の赤革製折鞄を置き忘れたので各方面を搜査したが判明せず念のため奉天署に屆出た、洋車夫窄は歸宅後洋車の上に置き忘れてあつた赤鞄を發見翌朝忘れ主某氏宅へ屆けたが家人の差し出す謝禮の金も受取らず「私は日頃正直に働いてゐるもので貯へた金はこれだけあります」と懷中の錢を見せその儘立去つた、其後某氏は路上に於いて其の洋車夫を發見し其の旨奉天署に表彰方を願ひ出たが同署でも支那人の洋車夫には珍しい奇特な行爲として立川署長及び忘れ主某氏から夫々金一封を贈り其の行爲を表彰した

## 拾つた手榴彈で幼兒大火傷
### 鮮人ボーイも一緒に

【奉天】市内江の島町十三番地平和自動車商會猪川氏の長男豐(六つ)は廿八日路上に於て手榴彈の如きものを拾ひ之を持ち歸り鮮人ボーイと戲に金槌で叩いてゐると突然轟然たる音響と共に爆發し豐は忽ちはね飛ばされた、この音に驚いて飛び出した近所の人が駈つけて見ると豐は昏倒してゐるので直に醫大醫院に舁ぎこみ應急手當の結果生命は取止めたがこれがため豐は兩腕に大火傷を負ひ且左手の無名指は根本より失ひ鮮人ボーイは兩膝より下に全治一ケ月の大火傷を負ふた

## 本年度滿洲各地の徴兵檢査日割

【旅順】本年度の在滿徴兵身體檢査の日割は左の如く決定した

▲五月一、二日檢査場長春歩兵第四聯隊講堂(受驗者在留地長春、哈爾濱、吉林七〇名)▲同四日より八日迄奉天春日小學校(受驗者在留地撫順、本溪湖、奉天、遼陽、鞍山、海龍四八六名)▲同十一日安東大和小學校(安東一〇〇名)▲同十四日大石橋小學校(大石橋、瓦房店、營口七二名)▲同十六日より二十六日迄(大連伏見臺小學校、大連八八〇名)▲同二十六日大連伏見臺小學校(金州、貔子窩、普蘭店、芝罘八七名)▲同二十九日旅順第一小學校(旅順八七名)未定青島日本居留民團(青島九八名)にて檢査開始時刻はいづれも午前八時である

## 鐵嶺附近の産馬改良

【鐵嶺】滿鐵では鐵嶺附近の産馬改良のため公主嶺農事試驗場に飼養中の種馬一頭乃至二頭 特に鐵嶺へ配給し附近農家の牝馬に交配せしむべく本月中旬より七月中旬までを期間とし種馬場に繋養場を改築し牡馬を飼育すると

## 初年兵奉天に到着

【奉天】駐奉歩兵第廿九聯隊初年兵五百五名は卅一日午前八時廿分着奉直に兵舍に入つた

## 匪首「陸林好」を討ち張海鵬の大勝
### 賊の死者は百名を越ゆ

法庫縣下の兵匪討伐のため出動中の張海鵬軍第五枝隊六百餘は廿八日午前十一時頃黑坨子大溝子附近に於て匪首陸林好の一團四百餘と遭遇交戰實に六時間餘に及びたる結果大捷を博して敵匪六十餘を斃し長銃八十、馬四六十頭を鹵獲し人質三十餘名を奪還したと、敵は算を亂して開原縣下に逃走したるが遼河徒涉の際二十數名は溺死したと尚第五枝隊は軍を廻して法庫縣下黄荒地猖洞附近に蟠居する劉海泉等の聯合匪賊一千を討滅せしむべく出動する筈と

## 拾ひ炭の權利體協から取上ぐ
### 警備用サイドカー購入で協會側善後策を協議

【撫順】撫順體育協會が炭礦より得てゐる拾ひ炭の權利は同會唯一の財源で年額一萬五、六千圓の收入があつてゐたところ、今回炭礦當局では警備用サイドカー購入費の財源がないため、昭和七年度だけは右拾ひ炭權利を協會より取上げたいとの要求があつたので、協會では容易ならぬ問題であるとて早速理事會を開き善後策につき協議したが、結局炭礦が必要とするサイドカー四臺は協會に於て購入の上寄附することゝして炭礦の諒解を求むることに一致したが、萬一炭礦側が之に應ぜねばさなきだに財政難の協會としては大打撃を受くるであらう

## 吉林交涉署に新任の施履本氏、赴任す

【吉林】事變後新たに設置された吉林交涉署は滿洲國の成立と共に前署長謝介石氏は外交部總長に就任せしため其後任に舊國家の外交部駐哈特派員吉林交涉署主任たりし施履本氏が任命され事務の引繼を了して事務の都合上之れを哈爾濱に設置することになりしを以て施署長は二十九日午後五時三十分發列車にて赴哈の途につき一先づ新京に於て謝外交部總長及熙省長と打合せの上三十日哈爾濱に出發して四月一日より事務を開始することに決定した

## 撫順縣公署が滯納税金整理

【撫順】撫順縣公署では金財務局長の來任以來大いに縣財政の確立に腐心してゐるが、先づその手初めとして今回滯納税金の整理を斷行するとさし縣公署財務局は最近商務會を經て千金寨市街に於ける昨年十二月以降本年二月迄の營業税の納入方につき四月末迄を限り嚴重納附するやう通告するところがあつた

## 同文商業の改制

【吉林】吉林同文商業學校は愈々多年の懸案たりし三年制は四月より實施することになり本年の二年生卒業する生徒は二十八日修業式を擧行して四月より三年生となることになり昭和八年三月は三年制としての第一回卒業生を出すことゝなり初めて社會に表れて活動することを得る譯である

## 滿鐵社員會奉天婦人部
### 役員を改選

【奉天】滿鐵社員會奉天婦人部では四月五日は左の通り役員の改選を行ふと

一、選出方法は選擧又は推薦何れでもその區の多數意見に一任
一、選出人員は各區二名宛
一、新委員次の通り

一區 河田 千代 中根 淳子
二區 龍 きよ 内川 [illegible]
三區 森 美子 西川 てる
四區 廣津 潔 西本 操
五區 松永さかえ 金崎つまよ

## 撫順普通學校特別教育廢止
### 避難鮮童歸農で

【撫順】撫順普通學校では事變以來當地に避難して來た鮮人子弟を收容、特別教育を開始し一時は百餘名の出席者があつたが、昨今は避難民も續々現地に歸農したゝめ出席者も僅に二十餘人に減少するに至つたので、右特別教育は三月末を以て廢止し希望者は新學期より學力に應じ夫々本科に編入することゝなつた

## 避難鮮農授産部を閉鎖

【鐵嶺】當地鮮農避難民收容所は避難民の前住地歸還決定したるを以て近く閉鎖する筈であるが避難民に副業を授くべく開設されてゐた授産部は二十九日を以て閉鎖した、授産部開設以來の副業は叺製造で開始以來叺一千六百五十枚、此賣揚金百八十八圓五十錢に達し避難生活中の勤勞收穫としては少からぬ金額であつた

## 鐵嶺署の充實

【鐵嶺】前住地歸還鮮農の現地保護を徹底せしむるため既報の如く鐵嶺署には今回百餘名の巡査巡捕が増員されるに決定し過日來少數づゝの着任を見てゐたが一日は巡査四十五名巡捕四十五名計九十名の多數が着任し茲に警備力は充實し増員配置は一段落となつたが近く鮮農の歸還と共にこれ等增員警官もそれ／＼任地に向ふ筈である尚今回鐵嶺署管轄區域が變更されて從來鐵嶺署管内であつた昌圖縣八面城出張所は四平街警察署に屬することゝなつたと

## 列車内の煙酒檢査

【普蘭店】奧地より州内に這入る列車乘客の携帶する煙酒類檢査は從來金州民政署の取扱ひであつたが來る四月一日より普蘭店民政署税務吏員によつて各列車共臨檢する事に變更されたので當署税務係は此際當然增員を見る譯である

## 廣島時局博に出品を要請

【旅順】在廣島第五師團、廣島縣、廣島市、廣島商工會主催吳海軍鎭守府、陸軍運輸部後援で來る四月廿九日より五月三十日迄、廣島に於て勅諭拜受五十年記念時局博覽會開催に決定せるにつき第五師團參謀課長安岡正臣氏より關東廳内務局長宛博物館戰跡保存會等の新陳列品及滿蒙紹介に適する物の出品方を要請し來つた尚右參考品としては滿蒙土人生活の狀態模型、滿蒙全地型の立體模型寫眞、支那特に滿蒙風俗模型、戰跡地型寫眞の提供を求めて來てゐる

## 沿線往來

▲田中チエッコ國駐在大使 卅一日來奉
▲大橋哈爾濱總領事 卅一日朝來奉
▲櫻井關東廳遞信局長 同上
▲眞金鋭氏 同上
▲米山門司鐵道局長 卅一日奉天發大連へ
▲鎌田奉天驛長 卅一日赴連
▲阪谷拓務省書記官 卅一日來奉
▲今井田朝鮮總督府政務總監 一日來奉
▲釜山商工會議所視察團一行 四日來奉

# 祝滿洲國建設

# 武士道に散り行く花

## 行方不明中の空閑少佐 上海に歸來後自刄
### 武運拙く捕虜となれるを恥ぢ 全責任を果して從容死に就く

【東京一日發】本日陸軍省は空閑少佐の行動の眞相を闡明して左の如く發表した

元歩兵第七聯隊大隊長陸軍歩兵少佐空閑昇は昨二十八日午後二時十五分江灣鎭西北側の舊戰場に於いて自刄せり事のこゝに至りし顛末を發表する事左の如し

二月二十日空閑少佐の指揮する歩兵第七聯隊第二大隊は第九師團第十一大隊として江灣鎭附近の敵を攻撃しつゝありしが同日夕刻歩兵第六旅團の命令に基き江灣鎭東端に兵力を集結し江灣鎭西北方の敵を攻撃すべく前進中午後九時頃嚴家宅（江灣西端より北方約三百米の小部落）東北約二百米の地點に達せし時俄然江灣鎭の敵陣地より射撃を受けて戰死者二名を出したるも奮戰力鬪以つて戰鬪を繼續し◯◯に亘る敵の逆襲に依り同部隊殆んど死傷し大隊長亦胸部貫通銃創並に手榴彈の爆撃を受けて瀕死の重傷を負ひ人事不省に陷り三十日拂曉遂に敵のため收容せられ爾後南京に收容中我官憲の斡旋に依り三月十六日上海に歸還せるものなり

◇

軍に於いては嚴密なる調査を行ひたるに以上の事實明白にして事情の眞に已むを得ざるものと判定し爾後上海兵站病院に收容し負傷部の加療中なりしが三月二十八日は故林聯隊長以下の五十七日回忌に相當せるを以て親しく林聯隊長以下戰死者の靈を弔ひ其の冥福を祈り顧みて奮戰力鬪せる思出深き日に從容として自決せり

◇

少佐の捕虜となりし次第は前述の如く全く武運に惠まれざるものにして已むを得ざるものなり爾來敵手にある間自殺せんとする事数次に亘りしも常に監視嚴重にして其の目的を達せず其の度忍びざるを忍びて來せるも國軍を思ひ部下を思ひ一切の事實を明白にして全責任を果して其の自決は少佐の胸中既に決しありしなり、これ蓋し少佐が歸來後陣沒せる當時の戰鬪の詳報及び動績にして其の一糸紊れず最後に就けるは之に徴するも明かなり

◇

少佐は性剛毅にして氣節あり一朝一夕も武士道を忘れず其の遺書中の一節に「自決するに武士の例に從ひ腹十文字に切腹した く候も御承知の通り（少佐の軍刀は奮鬪の結果刀尖折れ刀身鋼の如し、刀は昨日鞘に納め申候ところ拔けざる樣に相成り申候

拳銃を使用する事に致し候間其の邊を御含みさり下され候」とあるに徴しても明かなり又戰場に於いて彈丸雨飛の間死を選ぶは比較的容易なるも少佐の如く重要地位に於いて公私一切を處理し從容自若として死を決するが如き行爲は眞に武士道を解し修養を積める士にあらざれば難しとするところ少佐の親戚友人間先輩に致せる重要通信書は理路整然一糸紊れず眞摯の眞に平常と異ならざるものあり以つて斯くの如し士は國軍の爲め將又國民精神作興の爲め寄與する事大なるものあり武士道未だ亡びずと云ふべし

### 空閑少佐略歴

本籍佐賀縣佐賀郡佐賀市水ケ江町一九番地士族將尚三男 正六位勳五等 空閑昇

▲明治二十三年十二月二十六日生▲士官學校二十二期生▲大正三年六月九日歩兵中尉▲大正九年八月二十三日大尉▲昭和三年三月二十四日少佐▲大正十年四月十七日歩兵六十聯隊機關銃隊長仰付らる▲昭和七年二月上海事件の爲め出征同十四日呉淞上陸

## 戰鬪した地點で美事な自刄を遂ぐ
### 少佐自決當時の模樣

【上海二十九日發】元歩兵第◯◯隊◯隊長空閑昇少佐は二月末江灣鎭總攻撃戰に參加したが武運に惠まれず敵彈に斃れ人事不省の儘敵軍に收容されたが最近漸く歸來した處二十八日午後二時十五分江灣鎭西北方少佐が健やかなりし頃陣頭に立つて戰鬪を指揮して居た地點で美事な自刄を遂げた、少佐の軍服の底深く所屬聯隊長たりし故林少將始め舊部下たりし小野少佐、辻井大尉、酒井、中堀兩中尉の外江灣鎭攻撃戰に戰死した麾下將士の靈に宛た陳謝の遺書を秘めて居た、少佐が武運拙なく敵軍に收容され忍びざるを忍んで歸來するや傷いた身を押して戰鬪詳報、勳績調査の報告を完了し後任◯隊長蓮花少佐に對する申送り等滯りもなく一糸亂れず濟まし一切の公務を果した結果に見ても少佐は悲壯な自決の覺悟を固めて居たものと見られて居る

重傷して敵に捕はれたとすれば自刄するのが當然です、遺族としても滿足です、本人は非常に秘密を守る性質で出征の時も直ちに葉書を呉れた程で今度も決して御國の不爲めになつたり軍

## 自刄するが當然 遺族も滿足
### 留守宅で嚴父語る

【金澤二十九日發】金澤◯聯隊第◯隊長空閑昇少佐自殺の報を齎して市内川口町三六の留守宅に遺族を訪へば嚴父正直翁（七〇）は「豫て覺悟して居た事でした」とて左の如く語つた

皆樣に度々御迷惑をかけました永らく行方不明を傳へられて居りましたので苦しく思つてゐましたが愈々自殺しましたか戰爭に出れば戰死は覺悟して居ます

## 武門の譽高い家柄
### 兄弟三人ともに軍人

【佐賀一日發】自刄の報を齎して少佐の實父空閑正直氏を佐賀市水ケ江町に訪へば同氏は少佐の行方不明が傳へられた二月二十一日金澤市の同少佐宅に行つたきりで實弟茂氏は

實は他の戰死者は故國に歸つて盛大な葬儀が行はれてゐるのに兄の遺骨はまだ着かず氣になりながらも七日七日の法要は營んでゐました、自刄と聞いてやつと蔽はれた雲が取れたような氣が致します、敵の手に倒れなかつたのはせめてもの慰めです、佐賀には卅年母が死んだ時來たのが最後です

と言葉少く暗然として語つた、遺族は金澤に在る親子（三七）夫人との間に長女瑞子（九）長男正和（二）と去月少佐の出征中出生した次男正齊（一）の二男一女がある、なほ少佐の兄弟五人中三人まで軍職に在り武門の譽高い家柄である

同少佐は明治三十五年佐賀市勸興小學校を卒業後廣島幼年學校に入り同三十九年中央幼年學校に入學同校卒業後朝鮮、シベリア等の守備に任ぜられ同四十四年歩兵少尉、大正三年中尉、同四年歩兵學校入學、卒業後歩兵大尉に任官、昭和三年少佐に昇進今日に至つたもので本年四十三歳である

### 勇猛果敢で典型的武人

【上海二十九日發】自刄した空閑少佐は佐賀藩出身の典型的な九州男子で勇猛果敢な武人らしい武人であつた、江灣鎭攻撃に第一線に立つて勇名を馳せたのも其の勇猛な氣性に依るもので堂々たる巨軀で劍術馬術に長けてゐたので有名であつた、流石に武人らしく馬の飼養を道樂とするに興味を持ち酒は嗜好で醉ふを知らないと云ふ豪傑であつた

の恥になる樣な事は一切口出したりし女々しい事はしなかつたと思ひます、まだ隊の方から何等の正式通知もありませぬ、二月二十一日戰死を傳へられてから祭壇を設け燈明を上げて祭つて居りますと

未亡人カンチ（三七）さんは本月十五日次男正齊君を出産し産褥に臥してゐる、一家は長女瑞子（九）長男正和（二）君がある

### 遺骸は茶毘に

【上海二十九日發】自刄した空閑少佐の遺骸は昨二十八日現場から兵站病院に運ばれたが二十九日朝西本願寺の僧侶が病院に招かれ叮重な告別式後四時火葬場に送られ茶毘に附された

### 少佐の戰友 遺族を援助

【上海二十九日發】空閑少佐の不幸な運命には戰友時澤、菅少佐を初め生前の戰友部下等が等しく同情を寄せてゐたが少佐自刄に會ひ今後は精神的にも物質的にも遺族を援助すべく夙ぐましき奔走を續けてゐる

## 昭和三大疑獄の一つ 五品事件公判
### 卅一日大連地方法院にて開廷 珍しや傍聽人無し

五品取引所不正事件として大連財界を騷がせた元五品理事長原田耕一（五六）元商品信託專務田邊三積（六一）兩氏にかゝる業務上橫領事件の公判は卅一日午後二時半から大連地方法院長島裁判長係り本間、高橋兩判官陪席、池内檢察官立合の下に開廷された、滿洲における昭和三大疑獄の一つとして株界に起つた大事件が裁かれるといふに珍しく傍聽席はガラ空き、株界の人の顏は一人も見えない

### 私慾にあらず高等政策
#### 原田氏カラクリを曝け出す

裁判長は原田、田邊兩被告の身分調べの後、先づ被告原田の審理に入り、豫審決定書記載の事實に相違ありやと質せば「ありませぬ、その通りであります」と透き通つた聲で事實を認め、原田が未だ商品專務であつた當時、商品信託の資本金百萬圓を減資し拂込み二十五萬圓のうち十餘萬圓は固定し殘りのうち七萬四千圓は被告が株式などもした損失金に充當、結局運轉資金としては僅か六萬圓位で極度の不振に陷つてゐた、そこで被告が五品理事長に轉任するや、腹心の相被告田邊が商品專務に据り、兩名相談のうへ商品に有する七萬四千圓の穴埋めをせんため五品に假裝貸付の形式で整理したといふ當時の取引所内部の放漫振を暴露しいよ〳〵本件犯罪の動機となつた五品、錢鈔合併問題に絡まり被告等が大膽にも取引所の金を自由に動かして大芝居を打つたカラクリの陳述に移る

●裁判長● 合併問題は何時ごろ起つたものか

原田 元來五品取引所は大正九年政友會の小泉策太郎氏が設立し其後門田新松氏が理事長に据つた關係上政友色を濃厚に持つてゐたもので、創立當時は景氣よく四割も配當したものですが、大正八年財界パニック以來倒產者續出し社業も不振となつた、そこで大正十五年頃錢鈔合併問題が擡頭、爾來五品の傳統的方針となつてゐます

かくて被告が理事長に就任するや會社の傳統的方針を繼いで合併運動に腰を入れ、錢鈔株の買占め、五品株の東京上場、東株の買煽りなどに狂奔、知らず〳〵本件犯罪の深味に入つた經緯を詳述し、犯罪事實の整理に入り

第一 昭和三年十二月前後廿二回に亘り五品所有の錢鈔株一萬六千九百九十二株、價額三十九萬九千餘圓、滿興株一千五百株價額二十三萬八千餘圓を田邊に交付し一部商品の資金に、大分部を原田の株式賣買損失金の穴埋に充當し、今後錢鈔株四千六百株と滿興株八百株を五品に返還し、後六十九萬圓を五品に返還

第二 五品所有の現金七十五萬圓を商品に預金名義で田邊に交付し、一時相場の穴埋めに充當し

第三 原田が田邊に命じ商品所有の十二萬八百圓を引出し損失金に充當

第四 東京大澤株式店に委託して五品買占に當り會社所有の現金十五萬圓を送金

第五 五品東京出張所に保管中の東株五百株價額九萬三千五百六十五圓を大澤株式店へ保證金として交付

第六 昭和三年六月廣島で立候補中の門田新松の選擧費用として社金二萬圓を引出し、白川友一宛送金、其後返還

第七 三年九月社金四千九百九十九圓を東京出張中消費

第八 同年十二月社金五千圓のうち二千圓を建築監督者平井大次郎に、六百圓を長谷川組へ何れも謝禮として渡し殘金二千四百圓は交際費として消費した

第九 昭和四年四月社金二千圓のうち一千圓は大連新聞社長寶性確成氏へ、殘一千圓は其他言論界の人にバラ撒いた

第十 同年六月社金一千圓を消費

第十一 同年七月五品株證據金として臼井熊吉氏に錢鈔株一千株を交付した

第十二 同年七月社金四千五百圓を交際費として消費

第十三 同年十月正隆の十年据置預金十萬圓を引出し一時株式損失金に充當

以上十三項の犯罪事實に對し被告は理事會に一々諮らず定款に規定なき權限外の行爲をしたのでありますが

裁かれる元五品重役 原田氏（モーニング姿）と田邊氏

### 私の放漫も惡い
#### 原田氏の行爲想像は出來た 相被告田邊氏の陳述

とアッサリと謝をさげたしかし以上の行爲は私慾の爲では斷じてなく取引所挽回策として錢鈔合併を行はんがため所謂高等政策であつた

と一寸見得を切り、裁判長から「少し高等政策が大きすぎたネ」と酬ゐられる、次いで河内山、五泉、大内三辯護人から補充訊問あり、當時合併問題が議論に歸するや、白川、河村、山田の合併派に裏切られた事實や合併問題に對し時の長官木下謙次郎氏に充分なる諒解があつたなど財界に秘められた裏面のカラクリを曝け出して審理終結、午後六時休憩

六時十五分再開、原田被告の陳述として本件犯罪遂行の上に重大な役割を勤めた元商品專務田邊三積氏の審理に移る、裁判長から豫審決定書記載事實に相違なきかを質され「共謀といふ字句は肯定出來ぬが大體相違ありません」と答へ

●裁判長● 被告は原田の行爲を知つて本件に關與したか

田邊● 詳しいことは明かされもしませぬから知りませんでした、が、大體さうであらうといふ想像はしてゐました

●裁判長● 然らば原田が錢鈔と合併せんが爲め株式賣買をしたり遊動費に使つたりしてゐるといふ使途を知りつゝ、取引所の株券や現金の出入れに盡力したのか

田邊● 使途も詳しく知りませんでしたが、大體の見當はついてゐました、原田氏の爲めとはいひながら私の放漫も大いに手傳つてゐます

と相被告をかばひながら事實を認めて審理を終り直に證人から左の證人申請があつた

元五品理事長森美文▲東株仲買人大澤龍次郎▲政友會代議士門田新松▲元五品理事庭谷悅▲元五品理事平井大次郎▲錢鈔取引副組合長赤塚楠太郎▲元錢鈔專務神成季吉

及び證據物件として大正十五年門田事件の起訴記錄の取寄せを申請したが合議の結果證人として庭谷悅、神成季吉、赤塚楠太郎三氏を喚問するに決定、他は全部却下となり午後八時二十分閉廷、次回公判は來る廿一日、なほ田邊三積氏にかゝる扉籠違反取締規則違反事件は本件と分離し來る四月七日第一回公判開廷に決定した

## 『兄は元氣で政務をみてゐる』
### 溥儀執政に會ひに來た 溥傑氏東京に歸る

春の休みを利用して滿洲國執政溥儀氏に面會のため來滿した溥傑氏は三十一日午後十時半東京への歸途來奉、ヤマトホテルに一泊し、一日午後三時半發の安奉線列車で上京の途についたがホテルで語る

學校が始まるので上京を急いでゐます、滿洲に來て久し振りに兄に會ひ元氣な姿に安心しました、兄も多忙な日を送つてゐますが幸ひに元氣で政務を見てゐます私は日本で勉强して日本をよく理解したいと思つてゐます【奉天電話】

## 戰死傷者子弟の授業料永久免除
### 靜岡縣三島町で實施

【靜岡三十一日發】靜岡縣三島町では三十日町會で同町出身上海、滿洲事變戰死傷者子弟の授業料を永久徴收せざる事を滿場一致を以て可決し四月一日から之を實施する事になつた、尚一般出征者子弟

## 滿洲號献金十萬圓
### 大連市民愛國心の尊い結晶 沿線も豫定の二三倍

われ等の飛行機「滿洲號」の献金は三十一日を以て締切つたが、それ迄に集つた市民愛國の結晶は九萬十一圓三十八錢でなほ申込未納金一萬圓を加算する時は十萬餘圓に達し豫定額を突破する事正に五萬餘圓となつた

この中には西通り松村商會所屬第一、第二長生丸乘組鮮人一同の六十圓があつたり或は兒童、老婆の行商による献金、藝酌婦や女給達より搾出た血の滲むやうな献金があつたりして美談が數多く織り込まれてゐる、沿線各地でも三十一日を以て締切つたが成績頗る良好で豫定額より二倍、三倍の献金あり、四月中旬までには全部大連市役所内中央委員部に取纏め關東軍司令部に飛行機購入費として屆けられる手筈であるが、この

### 滿洲號が

關東軍に到着の曉は更に關東軍に新威力を加へる譯で、滿洲の天空に「滿洲號」が銀翼の勇姿を現はし爆音勇ましく縱橫無盡に飛翔活躍するの日も眞近い中であらうと

### 國防費献金 百萬圓突破

【東京三十一日發】國防費献金は三十日遂に百萬圓を突破し百十三萬二千圓に達した

### 滿洲號へ献金

沙河口管内王陽街商民聯合會では過般來會員の「滿洲號」建造費募集中であつたところこの程金六十二圓五十錢小洋二十二圓の應募があつたので廿九日市役所を通じて寄贈した

### 日曜學校生の献金

市内沙河口西本願寺の日曜學校生徒は豫て滿洲號の模型を作成して献金募集中であつたがその賣上金七圓四十錢を本社を通じて献金した

## 陸士御入學の澄宮さま
### 一般生御同樣に御起居

【東京三十日發】三十日目出度く學習院中等科四年御修了の澄宮殿下にはいよ〳〵四月一日から陸軍士官學校に御入學遊ばされるが、御在學中は全く一般生と御同樣の御起居を行はせられる御趣きである

### 中等學校選拔野球

## 八尾中學勝つ 對靜岡中學

【大阪特電一日發】八尾中學對靜岡中學の白組試合は午前十時八尾中學先攻にて開始結局接戰の結果一對〇で八尾中學勝つ閉戰十一時四十三分

| | 一 | 二 | 三 | 四 | 五 | 六 | 七 | 八 | 九 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 八尾 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 靜岡 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

## 和歌中勝つ 對甲陽中學戰

【大阪一日發】甲陽中學對和歌山中學の紅組試合は午後零時三十六分甲陽中學先攻にて開始結局二A對〇で和歌山中學勝つ閉戰午後二時二十分

| | 一 | 二 | 三 | 四 | 五 | 六 | 七 | 八 | 九 | 對 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 甲陽 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 和歌山 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0A | 2A |

## 長野商業勝つ 對早實戰に

長野商業對早稻田實業の紅組試合は午後三時四十五分早稻田實業先攻にて開始、結局二A對〇で長野商業勝つ閉戰午後五時十七分

| | 一 | 二 | 三 | 四 | 五 | 六 | 七 | 八 | 九 | 對 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 早稻田 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 長野 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | A | 2A |

### 二日の組合せ

【大阪一日發】大阪毎日主催第九回全國選拔中等學校野球大會明二日の取組左の如し

午前十時 阪出商業對中京商業
正午 明石中學對小倉商業
午後三時 浪華商業對和歌山中學

## 太平洋橫斷の商業飛行
### 吉原清次氏が可否試驗飛行

【サザンプトン三十日發】吉原清次氏の太平洋橫斷飛行機は本日當地よりニューヨークに輸送されたが吉原氏は語る

私は毎日十二時間宛航空十日乃至十一日間で太平洋を橫斷する決心だ、目的は北極圏コースに依る商業飛行の可能性如何を研究するもので飛行機は單葉で特にこの目的のためサンダース工場で製作した

## 大連滿倶大勝 對撫順ラグビー戰

撫順滿倶對大連滿倶ラグビー戰は一日午後一時より永安球場にて大連キックオフに開始されたが前半零對八、後半九對八にて撫順の雪辱ならず大連の快勝に歸した【撫順電話】

### 月の家開店

老虎灘公園内月の家では例年の通り四月一日より開店したが本年は特にこれ迄の親切第一のサービスに時勢に順應した特別サービスを加へ殊に多人數の宴會等は一切薄利にて奉仕する由

### 安樂椅子

最近ハルピンから歸つて來た人の話によると、同地の昨今の在留邦人の景氣は素晴らしいもので就中旅館、料亭、花柳節などは皇軍の入哈以來永年の沈衰からほんとに甦つたやうな有樣であると

◇

その「ハルビン景氣」の原因なるものを聞くと、今回の事變目當に内地から何かひと儲けをと遙々一攫千金を夢みて北滿までやつて來た人、黑龍江省の金鑛を探しに來た人、特産商、材木屋、雜貨商等々で日本人經營のホテル、宿屋これ等の人達で全部滿員となり溢れたのは露、支人の旅館を探すのに大骨折である

◇

或人の曰くに「かういふ景氣は元來滿洲の實情認識不足のお蔭で生れた泡沫景氣なのだからこれが一順了つてしまつて眞實の景氣が來るまでが大變である」と

# 曙の鐘 (243)

倉田潮
河野想多畫

## 誰（二）

「さ、早く云へ」

と平津に迫られて、より子は苦げな息をはき出したが、

「想像ですよ。想像だから、誰にも、決して〳〵口外しないで下さい」と語り出した「あの夜あけみさんは確に最後まで五階にかくれて、詳しいことまで見てゐたんです。ですから、想像ですよ。想像では或はあけみさんが殺したのではないかとも思ふんです。もし春木さんが殺したのでなければ…」

「何と云ふ不髄な話しだ。もつとはつきりと……」

「もつとはつきり申上げたいのですが、知らないことは何うしてもたとへ殺されても云へないぢやありませんか」

「では、貴樣や芳川は事件には全く無關係だと云ふのか」

「それは無關係ですわ。私は自分の部屋にゐたんですし、芳川さんなぞ次日まであの事件は知らなかつたのですもの」

「嘘をつけ」と突然平津は破れ鐘のやうに怒鳴つた「貴樣は芳川をあけみにとられたので、あけみに罪をなすりつけようとそんな嘘八百をならべてゐるのだ」

「まあ、何と云ふ思ひがけない疑ひでせう。平津さん、私と芳川は血をわけてはゐないが兄弟ですよ。だから今もあけみさんが本當に芳川を、心變りをせずに永久に愛してくれるなら嬉しいと、二人で話し合つて來たことですわ」

「今でなければ過去だ。過去に貴樣があけみを恨んでゐたことは確だぞ」

「そんなことはありませんわ」

「まだ空とぼけるつもりだな。恨んでゐないなら何故貴樣と芳川は大山の舞踏會の夜に、地下室であけみと壯三を殺さうとしたか」

「何を云つてらつしやるのです」

「默れ、まだ貴樣は人をだますつもりだな。あの夜貴樣と芳川があけみだと思つて地下室につれこんだ女は、淺駒の妻のよもぎであり壯三と思つたのは此の平津なのだ俺は最後にあの部屋に貴樣が這入つて來たのも知つてゐるぞ。證據はこの通り明瞭にあがつてゐる。もう惡事も最後だとかん念して、正直に罪を白狀しろ」

平津はさう云ひながら、月光をたよりにより子の顔を見つめながら、ここまで證據を示したなら、つひに包み切れずに自白するに相違ないと思つた。ところがより子は驚いた風をして、

「あなたは事實を取り違へてゐはしませんか」と云つた「成る程あの夜私も地下室へ行きました。このことについては既にあけみさんにも十分お話して諒解を得てゐるのですわ。が、あなたとよもぎさんとか云ふ人を殺さうとしたなどと……それは一體何時頃のことなのですの」

「眞夜中だ」

「まあ、そんな時刻に私が何うして地下室へなぞ行く譯があるでせう。私は御承知の通りあの夜は壯三さんの心を慰めようと天女の裝ひをして、庭や森をさまよい歩いてゐたぢやありませんか。私の地下室に這入つて行つたのは、その庭に出る前――丁度八時頃ですのよ。嘘だと思ふならあけみさんに訊いてごらんなさい。あけみさんもその時刻に私が地下室に這入つたことを知つてゐますし、時刻も必ずぴしりと云ひあてると思ひますわ。もし、その後であなたが壯三さんと間違へて危害を加へようとした人があつたとしても、それは私とは全く關係のないことですわ……しかし、そんなことも無いとは決して云ひ得ません。今屋敷は非常に亂れてゐるのですから…が、あつたとすれば、それは私に關係のない別の、最一人の人のしたことなのでせう。私も確ではないですが、心の中にぼんやり思ひあたることがあるやうな氣がしますわ。よく考へて見ませう」

とより子は語り終つて、闇に眼を光らせながら考へこんだ。

## 第一回滿日特選碁戰

互先 長谷川章（四段）
四目込出先番 吳清源（四段）

【14】

●二六一イ二　○二六二ワ七
●二六三チ九　○二六四チ五
●二六五ハ一
（二六五手終黑六目勝）

### 瀬越七段の講評

白八（タの十六）から一八（ツの十八）までボンヌキが厚いから之で存外惡くなく、白打てる形だ

黑二五（ニの十四）二七（ハの十四）は臨機の措置として面白い

黑六五（ヌの十六）以下七一（ワの十八）まで打つた爲に、却つて缺陷を生じ煩細な惹いた、打たずに單に七三（チの三）に打つがよい

黑七九（タの六）と手を拔いて白に八〇（カの十七）とキラすことは、たとへ黑惡しからざる結果をもたらしたとはいへ、到底贊成し能はぬ所である、矢張八〇にツグのでなければウソで、こゝをキラして黑に成算ありとは誰が言へやう

白八四（ツの十七）と直ちに劫に行つたので却つて碁をキマリづけてしまつた、この邊は勝負所故劫は暫く保留して、先づ八八（リの十五）にツケて浮游せる黑を兩分し、徐進緩圖機を窺ふ所に妙味がある

白九二（リの十三）ではともかくも九三（タの十三）にノビるべきで、九九（レの十四）となつては黑の目算が立つて來た

白一〇六（ワの二）一〇八（タの四）と打つて黑を堅めた爲に、一二七（ハの二）に走る味を褒くします〳〵勢ひを緩めた

黑一二一（カの五）で一三〇（ハの六）に打つておけば優勝疑ひない、しかしこゝで損をしたけれども一三九（リの九）と中腹に先鞭することになつては、黑に發る碁と觀測される

## 滿日俳壇 募集規定

次回課題「春の宵」「猫の戀」「春草」▲句數無制限▲用紙半紙▲各題別紙▲締切四月八日▲封筒に滿日俳句と明記▲投句先、東京市牛込區若松町八二島田青峰宛

## けふの放送 大連 JQAK

四月二日午前六時三十分
▲ラヂオ體操
▲午後六時十分ニユース
▲獨逸語講座「テキスト第四十一課」大連語學校講師荻榮
（以下內地中繼七時）
（花の夜第二夜）
▲講談「市兵衛の最後」大島伯鶴
▲小唄「花七題」（イ）咲いた櫻（ロ）散りもせで（ハ）ぶらりと（ニ）花さいわれて（ホ）花は折りたし（ヘ）逢ふは別れ（ト）なりて行く、唄金子千惠子、三味線同千代子
▲義太夫 艶姿女舞衣酒屋の段 淨瑠璃竹本朝太夫、三味線豐澤松太郎
（奉天より）
▲講演「滿洲に於ける民族共和に就て」軍司令部囑託佐藤新吉
（以下大連放送局より）
▲三曲「富士太鼓」三味線富森大檢校、同高木夫人、箏副島光枝 尺八覓泇山
▲職業紹介事項
▲天氣豫報
▲ニユース

滿洲日報
發行所 株式會社滿洲日報社 大連市東公園町第一番地



# 撤收地點並に期間は 停戰交渉の最大難關

## 會議の前途樂觀し難し

[illegible]留保を飽除する事に諒解が成立した結果、殘る問題は撤收地點より更に租界並に租界延長道路に撤收する期間の問題で[illegible]目されてゐただけに交渉の前途は未だ樂[illegible]に講調中だが、支那側今日迄の立前から今後の出やうが注目されてゐる

# 重要な撤收線未解決

[illegible]に閘北の一部分とのみ發表されてゐるが、この中には既報以[illegible]が含まれてゐる、この地點は眞茹から自動車で南市に通ずる

# 交渉の繼續は無駄

## 支那側が顏代表に打電

[illegible]軍は支那軍の現駐地に對し[illegible]に嚴重なる空中偵察をなし[illegible]る、なほ最近日本巡邏隊が[illegible]附近で中立國オヴザーバー[illegible]行せる支那の護衛隊を攻撃[illegible]事あるが、日本軍は事件發[illegible]防止すべく既に命令を發し[illegible]大體斯る小戰台は兩軍前衛[illegible]の現駐地たる太倉附近に限[illegible]てゐる

## 英公使の報告内容

[illegible]を報じて來た、尚駐支英公使ラン[illegible]ソン駐支英公使に本日聯盟に[illegible]兩軍の其後の情勢につき左の報告[illegible]られてゐる

# 澄宮殿下、けふ士官學校御入校

【東京一日發】皇弟澄宮殿下を御迎へした陸軍士官學校では本日盛なる豫科入校式を擧行した、この日殿下には午前九時御着校、御在校中の朝香宮學彦王殿下、李鍝公殿下に御對面後、直接御教導に關係する武藤教育總監以下三十餘名に拜謁を賜つた後皇族舍に入らせられたが、右は御兄君秩父宮殿下御入校の砌設けられた極めて御質素なもので、此處で一般生徒と御同様のカーキー色の軍服に御召替へあり、同十時御編入の第二中隊における宣誓式に百五十名の生徒と共に臨ませられ、愈々同校の御生活に入らせられた（御寫眞は三月三十日學習院を御修業の宮殿下、左から澄宮殿下、東久邇宮盛厚王殿下、東久邇宮彰常王殿下、賀陽宮邦彥王殿下）

# 戴戟辭表提出

## 軍事委員會慰留

【南京一日發】淞滬警備司令戴戟は停戰會議が支那側に有利に進展の模樣なく、結局非難の的となるを恐れ三十一日國民政府に辭表を提出したが、軍事委員會は極力慰留してゐる

## 洛陽で國難會議

【南京一日發】國民政府は國難會議を洛陽で開くに決し、林森、汪精衞、蔣介石、以下中央各部長並に委員等は國際聯盟支那調査團の離京を待ち洛陽に赴く筈

# 砲艦保津を不法射擊

## 支那兵荻港で

【東京一日發】鹽澤司令官發電、我砲艦保津が上航中三十一日正午蕪湖附近荻港の支那兵から小銃の射擊を受けたが機銃で反擊之を沈默せしめた

# 邦人佛租界で暴民に襲擊さる

【上海三十一日發】三十一日午後三時半某洋行店員外山勝次郎が商用のため支那人一名を連れフランス租界エドワード路を通行中突如支那暴民多數に取り圍まれ袋叩きに遭ひ後頭部顏面に重傷を負ひ租界警察に救はれ福音病院に擔ぎ込まれたが生命危篤である

# 南市高彰廟の兵工廠閉鎖

【南京一日發】上海事件發生以來國民政府は我空軍の爆擊を恐れ南市の高彰廟の兵工廠の重要機械を杭州、南京に移してゐたが昨日遂に閉鎖し全部南京に移した

# 上海全市開店

## 戒嚴時間も短縮

【上海一日發】今朝から全市一齊に商店を開いた、この他支那街の戒嚴令も時間は夜九時から朝の四時迄に短縮され、共同、佛兩租界の夜間通行禁止も撤廢されたので大上海は久し振りで元の上海に還つた、但し支那人密集地區並に租界外にては日本人に對する迫害は尚絶えない

# 日銀制度改正案を特別議會に提出

## 本月末調査會に諮問

【東京一日發】高橋藏相は現下の財界不況救濟の根本策として中央銀行制度及び發券制度を改正し梗塞せる事業界の振興を圖るべき事を屢々強調してゐるが愈々來る特別議會に提案するに決定し三十一日午後官邸に黑田大藏次官及び富田理財局長、大久保銀行局長を招待し第一回協議會を開催、これが方針を指示したが銀行、理財兩當局では直に具體案を作成し四月下旬頃新たなる金融制度調査會を召集しこれを諮問する筈

【東京一日發】高橋藏相は過般來金融制度改正の前提として從來の金融制度調査會を廢止して新方針による一流專門家より成る金融制度調査會を新設する事を決意し目下具體案を作成せしめてゐるが、右調査會は四月下旬頃迄に召集して現在問題になつて居る日銀制度改正案・發券制度改正案等を諮問する筈

# 日銀改革案骨子

【東京一日發】高橋藏相の抱懷せる日銀制度改正の大方針は藏相の口吻及びその周圍の關係者の意向から推して大體左の如きものであると觀らる

一、現在の日銀重役會が銀行經營に偏してゐるため通貨供給の基準決定の上に完全を得ないので新に財界各方面に精通せる一流の通貨管理委員會を設置する事

一、發券制度の改正は大體保證準備を擴張する意向でその擴張は現在の一億二千萬圓の上に五億乃至六億圓程度を增加する

一、納付金制度の創設、現在の發行税額即ち保證準備一分二厘五毛、限外發行五分の兌換券發行税を全廢し、これに依つて日銀が利得する分に對して別に納付金制度を創設する

# 新規要求はこの上承認せず

## 大藏當局の强硬意見

【東京一日發】昭和七年度追加豫算に關し各省からの復活要求總額は七千萬圓の巨額に達し、各省とも相當强硬態度を持してゐる、然し高橋藏相は對内的對外的信用維持のため赤字公債を增發することには極力反對であり、且公債引受け關係からもこれ以上新規要求を承認することは絶對不可能であるとの頗る强硬なる意向を有してをり復活要求は全部拒否する方であるが、尚七年度豫算は實行豫算十四億五千萬圓の外、既に查定を要する追加豫算約八千萬圓、別途詮議すべき追加豫算約一千萬圓更に未決定の滿洲事件費六月以降一億五千萬圓を加へると總額十七億圓に達する模樣である

# 滿鐵々道部營業收入の概算

## 總額八千八百餘萬圓

滿鐵鐵道部營業收入概算三月三十日現在は收入合計八千八百六十萬七百六十六圓に達し前年比減二百四十一萬三千九百卅二圓となるがこれを細別すれば左の如くなる（單位千圓、百圓以下切捨〇印增△印減）

| | 本年累計 | 前年累計比 |
|---|---|---|
| 客車收入 | 八、[illegible] | △二、[illegible] |
| 社内石炭收入 | 三〇、[illegible] | △ [illegible] |
| 其他貨物收入 | 四[illegible] | 〇一、[illegible] |
| 倉庫收入 | [illegible] | △ [illegible] |
| 其他 | [illegible] | △ [illegible] |
| 收入合計 | 八八、六〇〇 | △二、[illegible] |

從つて最近の鐵道一日收入三十五萬圓と見て本年度鐵道收入は結局約八千八百九十五萬圓となり、鐵道部の收入豫算八千七百餘圓を約百萬圓突破したが、これを前年度鐵道收入九千五百三十三萬餘圓に比すれば約六百三十八萬圓の減收となる、即ち

**概算** について見れば前年比減二百三十萬圓臺となるが、前年收入の精算において諸口拂戻および滿鐵協定による烏鐵側からの割戻し金百七十萬餘圓等が鐵道收入となつて決算面に現れ決算において約四百萬圓の收入增加を見たに反し本年度においてはこれ等の清算による決算收入增加見込は極めて僅少であるため結局六百萬圓程度の減收になるものと見られてゐる、而して今期を概括的に鐵道收入の跡を見るに、社内石炭運賃は四月十六日以後六月一杯は[illegible]

時局不安定の關係から、一時は悲觀狀態に置かれたこともあつたが輸送經路の變化、支那側鐵道不當運賃の廢止、時局安定等に幸ひされて次第に好轉し殊に三月以後は[illegible]

**好轉** し三月四日には社内石炭以外の普通貨物收入累計は前年比約四十萬圓の黑字となり最後まで好況を持續した、旅客收入は最も悪く一月八日には收入六百二十九萬餘圓で前年比三百八萬餘圓の減收となつたが、その後時局の安定から漸次恢復し三月末遂に二百四十萬圓臺の赤字にまで漕ぎつけた

**赤字** に轉じ遂に年度末まで恢復に至らなかつた、社外貨物運賃について見れば上半期は六月下旬から七月中旬末にかけ齊克線の出廻り激增により相當の活況を見せたのみで、總體的には不況をつゞけ前年度累計比減は十月三日最高に達して百八十七萬餘圓の赤字となつた、九月十八日滿洲事變勃發後は變動常なき狀態をつゞけ[illegible]は前年比收入累計は[illegible]未曾有の不況を示し十一月廿日に事變による南支市場の杜絶等から撫順炭の好況に[illegible]炭礦紛爭による撫順炭の好況に幸ひされ六月末前年比九十八萬六千餘圓の黑字を出したが、その後は次第に逆調となり更に滿洲上海[illegible]

# 增員警官の宿舍

## 百萬圓で六百戸新築

過般關東廳の必死の努力によつて實現せしめた千五百名の增員警察官に對する武器武具及び衣服等一切の配給物件については目下警務當局において可及的急速を要する問題として配給を急ぎつゝあるが更にこれに附隨する重要事項として當局を惱ましつゝあるものは警官を收容すべき宿舍の整備である右に關し當局は過般來州外一帶に亘り敷地その他起工に伴ふ種々の經濟事情を完全に調査して既に大體の成案を得るにいたつた模樣である、當局は近く一齊に工事に着手の筈であるがその計畫案の大要は州外十四警察署に亘つて巡查宿舍三百戸、巡捕宿舍三百戸、合計六百戸の新築を行ふこととしその資金一戸當り千八百圓平均合計百萬圓を要するものと見込んでゐる

# 滿洲國家に關する誹謗的再抗議一蹴

## 我政府、支那政府に回答

【東京三十一日發】滿洲新國家の建設は日本政府の責任だとて曩に支那政府側が政府を糺彈する通牒を送つて來たに對し我政府は三月十九日附で反駁回答を申送つたが、右回答に對し支那政府は廿四日附で重ねて我政府を誹謗する通牒を提示し來つた、之に對し我政府は二十九日附で**その謂はれなき誹謗を反駁し、滿洲國家に對する我立場は十九日附回答で既に詳細説明した**ところであつて、帝國政府は重ねて貴通牒に對し縷々説明する必要なきものと認めるとの要旨の回答を送り**簡單に抗議を一蹴した**

# 溥、潤兩氏

## 大連經由東上

執政の令弟溥傑氏並に執政夫人令弟潤麒氏は三十一日午後十時四十五分着列車にて來奉ヤマトホテルに入つたが、一日本庄關東軍司令官を訪問挨拶の上、同日大連に向ひ、歸校のため海路東京へ出發の筈（奉天電話）

## 人事

▲石田英氏（大連郵便局長）新任挨拶の爲め三十一日各方面訪問

▲鹽田信次氏（大連無線電信局長）同上

▲中川增藏氏（吉長鐵路局滿鐵派遣員代表）一日午前八時着列車で來連ヤマトホテルに投宿

▲田中太四郎氏（朝鮮第一殖産會社重役）一日上り旅客機で京城へ

▲高橋清一氏（安東取引所長）同上、新義州へ

▲宮谷法含師（東本願寺布教滿洲總監督）一日奉天へ

▲久留島秀三郎氏（鞍山製鐵所採礦課長）社用を帶び一日出帆あめりか丸にて内地へ

▲貝瀨謹吾氏（滿洲技術協會長）同上

▲小山貞知氏（滿洲青年聯盟理事）同上

▲鳥取縣立鳥取師範學校滿洲視察團一行二十五名　同上

▲竹内德亥氏（大連民政署長）一日旅順往復

▲富田啓吉氏（前民政署庶課長）退官挨拶の爲め一日旅順往復

▲磯田信之助氏（前關東廳農林課長）退官並に囑託挨拶のため一日旅大往復

▲源田松三氏（前關東廳財務課長）夫人歸國に就き見送りのため一日旅大往復

## 1932

さすがの高橋藏相も、各省豫算の復活要求を首肯せず、いくら積極主義でも程のある事は分つてゐる。

◇

滿洲國、一日から郵政權接收、近く海關も接收する、それから鹽務も收めて中央政府の財源を作らねばならぬ。

◇

滿洲政府は日本の作爲、とは國民政府の抗議、無論芳澤外相耳もかけぬ。

◇

佛界通行の邦人、暴民に襲はれ重傷危篤、こんなのがある間、停戰會議の前途も遼遠。

◇

鯰が地震を豫知することは科學的に證明さる、古來の傳說がバカにならず。

# 關東廳辭令

（四月一日附）

任關東廳中學校教諭　旅順師範學堂教諭　高田秀夫

任關東州公學堂教諭　關東廳中學校教諭　鈴木明

任關東廳通信書記　遞信局事務官、關東廳通信書記　小川勝彌

免兼官　關東州公立實業學校　尾越如長

文官分限令第十一條第一項第四號に依り休職を命す　關東廳技手　浦江八百穎

關東廳種馬所長事務取扱を命す　關東廳中學校教諭　今西喜藏

大連第一中學校長事務取扱を免す　旅順師範學堂、從五位勳六等　石川義次

任關東廳中學校長、叙高等官三等　關東廳中學校長從五位勳五等　橫佩章吉

任旅順師範學堂長、叙高等官三等　關東廳女學校長、從五位勳五等　今井順吉

任關東廳中學校長、叙高等官三等　關東廳中學校長、從五位勳六等

三等　關東廳高等女學校長、叙高等官　平田芳亮

等　關東廳中學校教諭　正六位　新里朝明

任旅順師範學堂教諭、叙高等官四等　同　從七位　高尾賴信

任旅順師範學堂教諭、叙高等官六等　同　從七位　倉本義貞

任旅順師範學堂教諭、叙高等官七等　關東廳公立高等女學校長　細萱庫三

昇叙高等官五等　關東廳技師　青木鐐

昇叙高等官六等（各通）　關東廳高等女學校教諭　伊佐逸　關東廳醫院醫官　森脇襄治　關東廳通信技師　毛呂邦次

四級俸下賜、補大連第一中學校長　關東廳中學校長　石川義次　關東廳旅順師範學堂長　橫佩章吉

四級俸下賜　關東廳中學校長　今井順吉

六級俸下賜、補旅順第一中學校長

五級俸下賜、補旅順高等女學校長　關東廳高等女學校長　平田邦[illegible]

五級俸下賜　關東廳旅順師範學堂教諭　新里朝明

七級俸下賜　同　高尾賴信

同　倉本義貞

七級俸下賜　關東廳通信副事務官　土屋義郎

同　三木卓

一級俸下賜　關東廳理事官　奧山喜兵衛　關東廳視學官　西啓次郎

同　關東廳技師　鴨脚光朝

關東廳警視　三田昇之助　田中貞三郎

關東廳專賣局理事官　布施信平

關東廳通信副事務官　土屋義郎

同　三木卓

同　大津義雄

旅順工科大學事務官　寺田倫

依願免本官　關東廳農事試驗場技手

兼關東廳技師

依願免兼官　關東廳旅順師範學堂長　橫佩章吉　山浦貞

命旅順第二中學校長事務取扱　關東廳中學校教諭　厚見武雄

同　米田重信

同　大浦[illegible]雄

任旅順師範學堂教諭　關東廳中學校教諭　照井隆吉

任關東廳中學校書記

兼關東廳中學校教諭　西義胤

任關東州公學堂教諭

任關東廳視學　關東廳視學兼關東廳屬　香川義憲

任關東廳屬　須藤精一郎

任關東州小學校訓導　外池平

補旅順第二小學校長　關東州小學校訓導

補大連小學校常盤小學校長　關東州小學校訓導　榊原殊藏

補大連嶺前小學校長　關東州小學校訓導　香川義憲

關東廳農事試驗場技手　山浦貞

依願免本官　關東廳看守長　古賀竹次郎　鈴木清重

關東廳通信書記兼關東廳屬　加藤昭市

免本官

專任關東廳屬　關東廳取引所書記　安武[illegible]春

命四平街取引所長事務取扱　關東廳取引所書記　藤井[illegible]

命公主嶺取引所長事務取扱

任關東廳視學兼關東廳屬　從七位勳七等　原顯吉

任關東州公學堂教諭　勳八等　谷口林右衛門

任關東廳視學　關東州公學堂教諭　谷口林右衛門

補沙河口公學堂長　關東廳技手　鴨脚光朝

任關東廳技師、叙高等官七等、叙從七位　關東廳技師　鴨脚光朝

九級俸下賜　關東廳内務局農林課勤務　勳八等　北村繁一

任關東廳公立實業學校教諭　南洞アイ子

任關東州小學校訓導　伊藤タケコ

依願免本官　關東州小學校訓導　柴田松枝

# 警察隊で除隊兵を採用

滿蒙治安維持のため今回警察隊員を募集することになりその隊員は主として除隊兵を以て充當することになつてゐるが不足の場合は在郷軍人よりも募集する筈で副隊長は在郷軍人中の准士官、下士中より充當する事となつてゐる、右副隊長中四、五名は大連在郷軍人聯合會の希望者中より選定することになつてゐるから希望者は二十日中に分會長まで申出て貰ひたいと

# 奉天警備司令赴奉

奉天警備司令于芷山は三十一日午後一時來奉直に省政府に臧式毅氏と會見、途中匪賊の狀況を報告したが氏は既報のごとく今後奉天に常駐、省内の治安維持に當り警備任務に就く筈【奉天電話】

**うらる丸**　二日午前七時二十分大連港外着の豫定

# 東亞の謎（233）

國枝史郎
挿畫 伊藤順三

## 四組の自動車隊（三）

木立がところぐに立つてゐた泉が一ケ所流れ出てゐ、井戸が數ケ所に掘られてあり、蒙古小屋が十數軒立つて居り、包が百數十個張られて居る。——と云つたやうな所であつた。

小屋は旅行者の旅舍であつた。

土人のお祭があるといふので、洋子は旅舍から外へ出た。

巴林と也速該とを供に連れて。

供に連れてといふこの言葉は、洋子にうつてつけの言葉であつた

巴林が洋子を手に入れやうとすれば、也速該が屹度邪魔をした。

也速該が洋子を征服しやうとすれば、巴林が必ず防害した。

この二人のさういふ態度が、洋子の貞操や生命を、自然と守ることになり、洋子は安全の境遇にあつた。

さういふ安全の境遇から一歩、いやく二歩も三歩も出て、彼女は二人を操縱し得る、女王のやうな位置になつた。

彼女は交互に也速該と巴林とを●●●ひやかしたりからかつたり、罵倒したり嘲笑したりした。

巴林の耳たぶを引つぱつた手で也速該の頰を輕く打ち、巴林の髮の毛を撫でた手で、也速該の髯を拗つたりした。

「ね、さうでせう、野蠻人でせうあんた方二人野蠻人よ。だから日本の貴婦人に對して、失禮しちやア不可ないことよ。いつもお行儀よく、いつも上品に、あたしにお仕へしなくちやアね。……解つたでせう、解つたはね。さあ解つたらお手々あげて」

こんな靈權にあつかひさへした自動車の中でも然うであり、此處へ來ても然うであつた。

最初こそ恐ろしくも怖くもあり今度こそ命が無いかもしれないとそんなやうな彼女は思ひさへしたが、今では必ずしも然うではなかつた。飛んだ獵奇的の面白い旅行！そんなやうにさへ思つてゐた。

別れたダットや次郎のことを思へば、戀しくもあり逢ひ度くもあり、更にそれ以前に別れた兄や、南部や小夜子のことを考へれば、思慕の思ひに堪えられなかつたがかうなつて了つた自分に執つては戀しくても思慕しても何うにもならない、だから甲斐のないさういふ思ひは、せめて現在が安全である。——といふ一事に割引かせてその一事を享樂しやう。……さいふ所に立つてゐた。

いろくの是迄の破天荒の事變と、それに伴つた危險とが、彼女を大陸的の大膽な女に、すつかり高上させたのであつた。

だから彼女は賑かでさへあつた賑かな彼女は此夜も賑かに、二人の野蠻人を供につれて、焚火の見える方へ歩いて行つた。

焚火が泉に映つてゐた。

泉のある邊に祭壇を作り、その祭壇をとりまいて、土人たちが輪舞してゐた。

グロテスクな巨大な假面を冠り鋒めいた武器や鍋めいた武器や、青龍刀めいた武器を振り、土人の獅子たちは踊つてゐた。

樂人達は木の太鼓や、瓢簞のラッパや角の笛を奏し、獅子達を圓く包んで、寛かに地面に坐つてゐた。

それを取り卷いて無數の見物が——蒙古人、支那人、トルキスタン人、英國の旅行者、ロシアの商人、フランスの旅行者、ユダヤの寶石商、等々が、押し合ひ[illegible]

めてゐた。

洋子達もその中の一人であつた。

「おや」と洋子は聲に出して云つた。

誰かが——何者かを眼に入れたらしい。

# 吉林軍擊破の餘勢で長谷部○團本部夜襲
## わが軍直ちに應戰して擊退
## 馮軍、高麗帽に來襲

【ハルビン特電一日發】方正西方において吉林軍と對峙中の馮占海軍は三十一日午後戰端を開き吉林軍は脆くも潰走した、馮占海軍は勝に乘じてわが長谷部○團の本據地たる高麗帽に向けて襲來し三十一日夜陰に乘じ大膽にも○團本部を夜襲して來たがわが軍はかねて用意してゐたことゝて直に應戰し交戰數時間にわたり大激戰を演じたが敵は遂に擊破され算を亂して蜘蛛の子を散らすごとく潰走したわが軍はこれがため戰死兵一名、負傷七名を出した、敵の死體は附近に散亂してゐる

# 露國々旗を揭げた敵裝甲列車と衝突
## 海林入りの上田部隊

去る十九日敦化を出發海林に向つた鞍山上田部隊は途中鏡泊湖附近にて大集團の匪賊と猛烈な交戰をしつゝ三十日夜海林に到着せるが三十一日夜鞍山守備隊に達せる情報及びその後の戰死者は下記の如くである

即ち○隊は三十日午前六時寧安發嚴重なる警戒の下に海林に向ひ前進中午前八時五十分頃約三里の地點に於て王德林の部下約五百名と衝突し、賊の展開に先き立ち側面部隊によりこれを包圍し本隊と相呼應して賊に徹底的打擊を與へ、賊の本隊を殆ど全滅せしめた、戰場に遺棄されてゐた死體は百五十を下らず外に銃器百、彈藥多數を捕獲しこれを燒却した、賊の一部は牡丹江、主力は石河方面に退却した、この戰鬪に於て我軍は戰死は騎兵軍曹小田切清吉、步兵上等兵原川才二郞、步兵一等兵久保田常吉の三名で負傷は步兵軍曹蘆田清、同伍長木村喜一、同上等兵渡邊義行、同遠藤宗吉騎兵軍曹白木文藏、步兵一等兵栗山新三、同小森禮二、同二等兵大塚榮吉の八名で內五名は重傷である

なほ上田部隊は賊を追ふて前進した處海林南方約三キロの地點にて午後一時半頃東方より裝甲列車が前進し來りわが展開線の正面に停車したが、同列車は露國々旗を揭げてゐるので內容を調べんとせる間に同列車は突如五百米程後退し砲を有する二百名程の部隊が下車し附近高地を占領し我に砲擊を加へんとしたので○隊は展開のまゝ直にこれを攻擊々退し、敵は死體三十を殘して北方に潰走した、かくて日沒に達したので○隊は同夜海林に宿營せるが以上の情報を綜合すると牡丹江には王德林の指揮する約五百名、石河にも約五百名の賊あり我に接近し目下對峙中である【鞍山電話】

# 不可解な露國の行動
## 國境の兵備を益々充實

最近勞農露國は極東に約四個師團の兵力を增加し且つ國境方面には飛行機も五六臺有するのみであつたが近來イマン、スパサカヤの二ケ所に飛行機八十機を增加した、北滿支那有力者間では反吉軍の兵匪のシベリヤ進入を防止するためなりとか又一部ではそれにしては兵力が大なりなど、種々傳へられてゐるが露國の態度は全く不可解にして彼等の行動は各方面から注目されてゐる【長春電話】

# 滿洲國軍を集結し戰機熟し來る
## 農安の匪賊一萬五千

張海鵬および彭金山麾下の農安討伐に參加すべき出動騎兵の大主力部隊は三十一日より四平街および鐵嶺より臨時列車で續々到着前線に向け出動中だが一日午前一時十五分着列車で騎兵七百名馬四八百頭、九時三十分着列車で騎兵一千百名、馬四一千三百頭が到着寬城子郊外に休養したが正午その一部は長春に入城した、しかしいづれも一日夕方までには農安に出動する筈、なほ本日夜も大部隊が到着するところになつてゐるが到着時間は不明である、かくして長春を中心とした軍隊は勿論、滿洲國の精兵の大部分は鐵西農安街道に集結して戰機の熟するを待ちつゝある農安包圍の匪賊團は附近の小匪賊團を合せて二萬餘、これに日本軍○○○○名あまりが參加し戰機は正に熟せんとしてゐる兩軍の鐵嶺の匪賊のほとんど全部を網羅したかたちでその勢び侮るべからざるものがある、一方滿洲國軍は吉林軍、チチハル軍、張海鵬軍その他を合せて二萬餘、これに日本軍○○○○名あまりが參加し戰機は正に熟せんとしてゐる兩軍の

間に火蓋が切らるのは二日午前六時からの豫定だが一兩日前からの春風は一日にいたり黃塵萬丈を吹き飛ばす蒙古風となつたので飛行機の偵察活躍は頗る案ぜられてゐるから空陸呼應した總攻擊の開始が果して豫定通りに行くか否かは遽に許さぬものがある、單なる擊退だけならばともあれ將來の禍根を絕滅するの作戰であるため聯合軍はもつとも愼重な態度をとつてゐる、又滿洲軍主力部隊は遠隔地からの集結には輸送上或は行軍上非常に苦心しつゝある狀態にあるから或は三日拂曉に延期せらるゝかとも見られてゐる、しかし戰機の熟してゐるのは事實で滿洲國軍の意氣は正に天を衝くの槪あり火蓋が切られ突戰奮激入り亂れ白兵戰を演じ壯快なる賊の殲滅を圖るも目前に迫つた、この戰勝の勢ひは或は敦化附近の遠征となり國內治安の完璧を期するの方圖に出づるにあらざるかと見られてゐる【長春電話】

# 敦化襲擊を大刀會匪が計畫
## 在留邦人虐殺を圖る

敦化東北方大荒溝奧地にある大刀會匪百五十名餘の指揮官は王芝昌で去月二十一日大荒溝附近でわが軍と激戰を交へた王德林麾下の兵匪五百名と行動を共にしてゐるが彼等は敦化警備の日本軍全部は農安方面に出動不在であるため、敦化襲擊の決行は今日をおいて他にない、われらの敦化到着は相當時間を要するのでその間には在住日本人の虐殺は十二分に行はれると豪語してゐる模樣であるが王芝昌は敦化十餘里にある兵匪の司令官と

敦化襲擊に對する協議を行つた模樣である、長春西方の農安は危急の立場にありしかしてさらに東方敦化は匪賊の間に襲擊の計畫ありこれら匪賊討伐にあるわが軍は全く奔命に疲れざるを得ない立場にある【長春電話】

# 保護警戒に我軍增兵
## 守備隊を派遣

治安を紊す最大の原因となるのでわが軍では在留民の保護警戒のため熊岳城、大石橋駐屯の獨立守備第○大隊森重大尉以下○○○名を派遣することとし一日午前七時着列車にて該隊は長春着同八時發吉長線列車にて敦化に向け出發したなほ內○○名は吉長線下九臺に下車駐屯せしめた【長春電話】

# 農安城死守
## 一日午後一時の形勢

一日午後一時における農安附近の陣形は農安城內には劉團長の率ゆる約千五百名の吉林軍あり、農安城より約一邦里の地點にある六間房には賊の主力約八千が嚴重なる陣を張り、これより更に南一邦里をへだてた南西入門に我軍が機の熟るを待ちかまへ、更に農安東南方面は吉林守備隊、東は吉林軍によつて守られ今や全く戰雲漲り、大激戰まさに勃らんとする直前の沈默を守つてゐる【長春電話】

# 愛國號機搜查繼續
## なほ手懸なし

【ハルビン特電一日發】愛國號搜查のため今朝また飛行隊出動し方正、三姓方面および附近を隈なく搜查したが依然判明しない、ハルビン飛行隊および現地の軍隊はあらゆる方法を講じ地方人の噂まで注意して調べてゐる

# 搜查飛行機を高射砲で射つ

【ハルビン一日發】三十一日搜查に向つた○機は依蘭に在る反政府軍に高射砲で射擊され引返して來た、方正方面に在る天野○團とも連絡八方手を盡してゐるが何等の手懸りない、依蘭附近に不時着したさすれば恐らく絕望ならんと

# 苦力監督の邦人不明
## 敦化の南方で

本籍宮崎縣東諸縣郡高岡町當時敦化東門外榊谷組事務所勤務吉賀井正(三)は三月二十五日午後一時三十分ころ敦化南方約一里半の牡丹溝附近において砂利採取の苦力監督に赴いたまゝ今日にいたるも歸來せず行方不明となつた、これがため敦化領事館分館警察署巡查四名および滿洲國側公安局巡警八名は二十八日午前九時よりその搜查のため現地に赴き砂利採取場をはじめ牡丹江西岸一帶にかけ大搜查を行ひしも何ら手懸りがなく午後四時引揚げた

目下同附近は匪賊の橫行甚だしくここに大荒溝附近には大刀會と稱する自稱救國匪賊と馬賊軍とが敦化襲擊を企て蠢動しつゝあるため彼等の手に拉致されたものと思はる【長春電話】

# また悲しい凱旋
## 十四勇士の遺骨歸る

春のたよりをよそに敦化、老嶺棚通溝堡、九臺子方面の兵匪討伐中壯烈な戰死を遂げた名譽の勇士故步兵曹長奧山勝次氏外十名それに學良軍の動靜を探るべく昨年十月以來特志調查班を組織し目覺しい活躍をつゞけてゐたが不幸同志十餘名と共に兇刃に斃れた故軍司令部囑託倉岡繁太郞氏、同緖方武雄氏緖方末治氏合せて十四體の遺骨が一日定期船あめりか丸で○○團附步兵曹長加藤齊氏外十名に護られて悲壯な凱旋をした、定期船出帆前午前八時半より埠頭待合所の祭壇において嚴肅のうちに市役所主催の慰靈祭が行はれた故倉岡軍屬の血緣者、その他遺族達の悲しい合掌裡に神式をもつて開始、岡野市助役祭主となつて弔文を朗讀並居る參列者一同淚のうちに午前九時半式を終了、直に甲板にしつらへた祭場に移す、白木の十四の小箱に各方面から贈られた幣の香華、立ち上る香煙、岸壁ベランダを埋めた市民の脫帽、静肅のうちに國の鎭めが嚠喨と吹奏せられ、船はこれ等永久に眠れる勇士を乘せて懷しの故山に向つた【寫眞は慰靈祭】

# 滿蒙熱に浮かされボロ株を摑まさる
## 大連署に照會殺到

滿蒙熱に煽られた內地においてて巧妙な株券詐欺の智能犯が非常に增加し各地でとんだナンセンスを演じてゐる「滿蒙」といふ二字に魅力を感じ出した機會を付け込んで滿洲では顧見られない無價値の株券や、幽靈會社として有名無實な會社の株券、さては好況時代の遺物として現在僅か二、三圓の市價を唱へられてゐる不良會社の株券でも「滿洲」とか「滿蒙」の社名が冠せられてゐると恰も新興滿洲で隆々たる業績を擧げつゝある優良會社の株式の如く巧に思はせて識不足の內地人に高價に摑ませては莫大な儲けをしてゐるのであるこれがため大阪で賣買價格十圓を唱へられてゐる株券が福岡では一躍三十圓を唱へられてゐたり非常な財產だと思つて怪しげな株券を千株も二千株も持つてゐた者が市場に出して初めて無價値であるとを知つたさいふナンセンスが各地で演ぜられてゐるといふ、この怪しげな株券を巧な宣傳に乘つて高價で摑まされた被害者は東京、神奈川、名古屋、大阪、福岡の各地に亘り多數に上つてをり、各府縣警察部から殆ど每日の如く大連署に會社の有無、株券の眞僞、市價等を照會して來る有樣で、一日も神奈川縣警署から大連株式信託會社の株券で大掛りな詐欺にかゝつた者ありといふので同社の內容調查を依賴してゐる

# 東陵遊覽列車
## 每日曜日運轉

十七日櫻家屯

滿海鐵路局では春先より夏秋にかけ內外人の東陵見物出盛りを見越し四月十五日より東陵遊覽列車の運轉を計畫してゐるが當分大北邊門より每日曜日に一列車を運轉する筈【奉天電話】

# 麻雀倶樂部睨まる

さきに試驗的に許可された四軒の麻雀倶樂部は流行の潮流に乘つて相當繁盛してゐるので、その後開業を希望する者二十數件の多數に上つてゐるが大連署では許可せる倶樂部が開業間もなきに早くも賭博場化しつゝあるとの風評あり、結果面白からぬものがあるので第二次許可を見合せてゐるなほ右の風評に對して目下極力內偵中で賭け麻雀の事實が判明し次第閉鎖を命ずる意向であると

# 軍隊警官の弔慰々問金

滿洲事變出動軍隊、警察官の殉職、傷病者のため民政署長、市長、商工會議所會頭發起で大連、滿日兩新聞社の後援を得て舊臘以來市民から慰問金を募集中であつたがその總額一萬八千八百三十一圓に達したので取扱つた市役所ではこれをそれ〴〵寄附者の意思に從ひ軍隊または警官に送る事となりその區分を指定しないものは兩者の數により按分し三十一日軍隊側は軍司令官あて一萬八千五百圓七十六錢を警官側は關東廳警務局長あて三百三十圓八十七錢を送附した

# 地震と鯰
## 迷信と科學
### 鯰の豫告は百發百中
#### 東北大學畑井敎授が新研究

【仙臺三十一日發】近代科學は地震は鯰が地底で尾を振るといふ傳說を迷信だと片附けて居たものだが蚯蚓の研究で有名な東北帝大理學部敎授畑井新喜司氏が動物學者として鯰と地震の相關々係を研究して然も敎授は九十パーセント迄兩者の密接な關係を確證し學界にセンセーションを捲き起してゐる畑井敎授は地震と魚の移動につき研究してゐたがボストン大學のターカー敎授が水底の怪哲學者鯰が組織學的に物體の震動と電氣に敏感であると發表して以來青森試驗の東北帝大臨海實驗所に音響と震動から完全に絕緣した研究室を設け鯰を水箱に飼つてその運動を睨みながら記錄を作つたが人體に感じない地震迄鯰には判ると云ふ事が地震計で明白になつたゝめ敎授はこの頃では鯰利用の地震豫告を所內に揭示するとは殆ど百發百中の結果を得てゐる

# 旅大の上空を三十機飛ぶ
## 聯合艦隊の飛行訓練

帝國海軍の精銳である第一、第二艦隊の精鋭は來る三日と六日を期し舳艫相啣んで旅大の地を訪れる事になつてゐるがその際艦載の水上機および艦上機は飛行訓練のため旅大の上空に入亂れて飛行する事になつた、日割は第一艦隊が三日より八日まで水上機六機大連の上空を飛翔し八日より十日まで旅順の上空を飛び、三日、八日、十一日の三ケ日は艦上機三十機銀翼をならべて旅大の上空を旋回して快翔し第二艦隊は三日より六日まで水上機六機旅順の上空を十日は同大連を各飛行する事になつた艦上機三十機大連の上空に爆音勇ましく飛行する等は未だ曾て見ざる事で定めて壯觀な事であらうと待たれてゐる

# けふ滿鐵で廿五周年記念式
## 永年勤續社員を表彰

滿鐵會社創業開始二十五周年記念式並に永年勤續社員表彰式は一日午前九時から滿鐵社員倶樂部大食堂で行はれた、式は山崎總務部次長の開會の辭に始まり、鐵道工場ブラスバンドの伴奏裡に出席者一同滿鐵の歌を合唱、內田總裁式辭を述べて廿五周年を迎へた滿鐵の現在を祝し拍手裡に降壇、次いで中西人事課長事務取扱ひ社員表彰についての規定統計等に就き詳細報告をなし內田總裁よりも五年および十五年勤續社員表彰狀をそれ〴〵各部所代表に授與、直に立食の宴に移つた、かくて九時四十五分內田總裁の發聲にて會社の萬歲を三唱し盛會裡に式を閉じた【寫眞は式場】

# 赤十字の春季巡回施療日程

日本赤十字社大連委員支部では來る八日から二十七日までの二十日間、例年の通り管內の春季巡回施療を施行するがその日程は左の通りである

八日老虎灘官內▲九日石道街十日北岡子▲十一日香爐礁▲十二日三春柳▲十三日周水子▲十四日大辛寨子▲十五日定家河子▲十六日華領堡▲十七日南關嶺▲十八日大房身▲十九日柳樹屯▲二十日海猫屯▲二十一日甘井子▲二十二日寺兒溝▲二十三日臺山屯▲二十四日小平島▲二十五日梨家屯▲二十六日台灣▲二十



# 初年兵傳染病

卅一日旅順に到着した第三十聯隊第二中隊の初年兵小山金治は一日流行性腦脊髓膜炎に罹り衞戍病院に收容されたがこれがため營內は大騷ぎとなり大消毒を行つた

# 神武天皇祭

大連神社では三日の神武天皇祭に當り例年の如く午前十時より境內遙拜場において民政署長、市長、滿鐵總裁始め氏子役員參列の上遙拜式を執行すると

南西の風（晴）一時曇　二日

各地溫度

| | 昨日最低 | 一日午前十一時 |
|---|---|---|
| 大連 | 〇、四 | 一、六三 |
| 旅順 | 〇、〇 | 一三、七 |
| 營口 | 零下一、五 | 一一、五 |
| 奉天 | 同 二、一 | 一七、二 |
| 長春 | 同 四、八 | 一六、六 |

けふの小判相場（十一時）金百圓は一六四圓二十錢

# 武門血笑記 (102)

下村悦夫作
布施長春挿畫

走馬燈（五）

これに對して、照枝は左足を開いて右半身をぐつと前に、獨特の刀身一如、入身正星の構へ、而もその手に握られてゐるのは、大刀でなく、仕込杖以來使ひ慣れた一尺二寸餘の細身の小刀、燦として白日に煌きながら、眞一文字に主殿の胸許を狙ふ。

主殿は戒道無念流の流をくんで旗本の中でも指折りの使手、殊に業よりも氣で勝つ無類の強刀、照枝の恐氣もない奇妙な構へを見ると

（小癪な、奇怪極まる構へ、たゞ一打に）

ぐつと腹の底から込上げて來る殺氣に釣込まれて

「えい、えいッ！」

八相に振冠つた大兼光の鍔許から鋩子迄ぴりくと響くやうな矢嚮き早の氣合が、不思議！照枝はその黒水晶のやうに澄みきつた眼を、たゞ一點主殿の胸先に注いだまゝ、唖のやうに口を閉ぢて、而もその兩脚は双つ共にぢりくと前に進む。

作樂が奥の座敷から飛び出して來たは、丁度その時であつた。

「あつ」

思ひもかけぬ光景に、彼は一瞬棒立になつたまゝ、二人の劍勢に屹度目を注ぐ。

（互格、いや、今の處照枝に一分の勝目が、が、こんな事を……

作樂は、ブツリ刀の鯉口を切つて、踏み出す前に、眼を上げて四邊りを見た。

と、その途端、二町餘り向ふから砂煙りを立て、驅けて來る捕方の一群――。

「おう」

思はず作樂の口を突いて出る呻き聲

作樂は突如足許に轉がつてゐる穂先の切れた槍の柄を拾ひ上げ、横雜に颯と、主殿の胴を擲つた。

「えつ」

不意を喰つて主殿

横斜ひに一間餘り飛び下つて、備へを立てやうとする瞬間

「えいッ」

諸手突き。

鐵丸をも貫くやうな照枝の鋭い危ふく開ひて、飛び違ひざまに

「やつ！」

と、打下した主殿の長劍、空を切つて前に泳ぐと見た一刹那！

ピユウと唸りを生じて飛んで來た、作樂の投げた槍の柄に、主殿は足を絡まれて、ばつたり砂の上に斃れた。

「透げよ」

作樂は照枝を促して、七八間前へ驅け戻つて來た主殿の乘馬を見掛けて一走り、手綱を……ればひらりと飛び乘り……を取つて、鞍前に抱き……まゝ松林の中へ一目……

「逃がすな」

「あれだッ」

口々に叫びながら、後を追ふて松林の中に亂れ入る。

がつばと砂の上に伏つたまゝ、後を追ふともしなかつた主殿、靜かに立ち上ると、砂にまみれたその面は、夕立雲のやうな陰慘な表情、垂れたまゝ握り締めてゐる大兼光が、憤怒と屈辱に、わなくと顫えてゐた。

## 大衆興行の寶館　河合映畫を解約

正映マキノと富國キネ契約　但し當分は内檢切れ

寶館は本年正月から河合映畫封切館として松澤キネマの内檢切れ映畫を併映し毎週階下二十錢の大衆興行を標榜して爾來好成績をあげ探算のとれる映畫館として業界の注目を集めてゐたが、突如四月一日から河合映畫を解約し、新に正映マキノ製作大衆文藝提供作品及び富國キネマと契約し松澤キネマの内檢切れは從前通り上映する旨を發表した、この結果河合映畫は封切館を失ひ、寶館も亦、正映マキノと富國キネマを契約するとは言へ未だ正映マキノは二本、富國キネマは未封切で兩社とも全プロ配給に至らぬため當分の間は松澤キネマの内檢切れと常盤座小泉友男氏所有のマキノ作品を上映し、また時々は露人配給者テラケロフ氏の洋畫を以て大衆興行をするものと見られてゐる、なほ同館の小笠原雷音氏が上海から福岡に廻り近日歸連する筈で同氏によつて河合映畫に代るべき何等かの對策が齎されるものと見られ、一説には河合映畫滿洲支社には違反金として保證金の五百圓を出してゐるから今後は河合映畫九州支社と直接取引をなすべく計畫されてゐるとも傳へられてゐる

## 帝國館再生裝置　トービス機を採用し

將來は混合プロ上映の模樣

帝國館は日活映畫封切館として開館當初からトーキー再生裝置が問題となり日活本社のトーキーに對する態度を見極めた上で解決すべく懸案中のところ、日活にて本格的にトーキー製作に乘出し四月第二週に大河内傳次郎主演「上海」をトツプに第三週に伏見直江の「女國定」と續々發表し現在トーキー十本を準備してゐるのでいよく再生裝置をなすことになり、ウエスタン、RCA、トービス機の内から採用すべく鑑議の結果、日活本社が録音と再生效果の關係上トービス機を採用することになり、全國六十館をトービス機でトーキー化するので帝國館も日活作品本位の再生效果を考慮し遂にトービス機Z型を採用することに決定しこの程古河電氣と契約し四月下旬入荷し直に据え付けて五月中旬「上海」を封切りする豫定である、この結果、同館の觀客である混合プロ上映も今日までトーキー再生裝置なきため行惱んでゐたがこの問題も急速に解決すべく帝國館の將來は日活映畫と優秀外國映畫の混合プロによるべきものと見られてゐる

寶館が河合映畫を解約しました一つ……映畫街に波紋を描き出してゐる……は歩金が需り……

▲この人どこまでも興行師肌に出來てゐると映畫館を感心させてゐる

## 本社特選　新棋戰（其四）

香落　六段　△飯塚勘一郎
四段　▲鈴木禎一

【圖は七四歩迄の局面】
▼鈴木氏「持駒」歩
△飯塚氏「持駒」歩

△六五歩　▲七七角成
△同桂　▲二二角
△六六角　▲同角
△同飛　▲三三角
△六七飛　▲八六歩

【土居八段講評】△飯塚君はこの機を利用し強く六五歩と突出し上手の實力を發揮したのは流石氣ある指し方である▲その時鈴木君の三三角打は敵飛車の働きを牽制の意味であらうが後に角頭に危險を生ずる惧れあれば矢張り二二……